

超短時間雇用による就労困難者支援
報告書

令和5年3月

福岡県就労支援協同組合

目次

1. 週 20 時間未満就労モデル事業について

(1) はじめに	4
(2) 週 20 時間未満就労モデル事業の概要	4
① 目的	4
② 対象	4
③ 事業期間	4
④ 令和 4 年度支援体制	5
⑤ 令和 4 年度取組内容	6
ア. 事前準備・周知広報	6
イ. 企業説明会・合同会社説明会の開催	10
ウ. 個別開拓	12
エ. 企業への支援	13
(ア) 支援の流れ	13
(イ) 支援内容詳細	13
オ. 求職者への支援	16
(ア) 支援の流れ	16
(イ) 支援内容詳細	16
カ. 有識者会議・実行委員会運営支援	19

2. モデル地区の状況

(1) 飯塚市	20
① 飯塚市の特徴	20
② 令和4年度の実施結果	20
ア. 企業に対する実施	20
(ア) 説明会開催	20
(イ) 個別開拓	20
(ウ) 個別支援	22
イ. 求職者に対する実施	38
(ア) 説明会開催	38
(イ) 個別開拓	39
(ウ) 個別支援	40
(2) 大牟田市	51
① 大牟田市の特徴	51
② 令和4年度の実施結果	51
ア. 企業に対する実施	51
(ア) 説明会開催	51
(イ) 個別開拓	52
(ウ) 個別支援	53
イ. 求職者に対する実施	59
(ア) 説明会開催	59
(イ) 個別開拓	60
(ウ) 個別支援	61

3. 令和4年度の成果、課題、今後の対応策

- (1) 成果とその要因・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
- (2) 課題とその要因・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
- (3) 今後の対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

参考資料

- (1) 実行委員会、有識者会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78
- (2) 周知広報を行った支援機関等（飯塚市・大牟田市）・・・・80
- (3) 説明会参加者アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81

1. 週20時間未満就労モデル事業について

(1) はじめに

2018年の日本財団の調査によると、就労していない障がいのある人をはじめ、ニート、ひきこもり、難病患者など、働きづらさを抱える人が全国の8人に1人、延べ1,500万人いると推計される。本県にあてはめると、おおよそ60万人を超えると見込まれ、働きづらさを抱える人の社会からの孤立、分断、貧困と格差拡大は大きな課題となっている。

今年度、日本財団及び福岡県からの補助を受けて、福岡県就労支援協同組合（以下「当協同組合」と略す）が、就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える人が週20時間未満の短時間で働くことが出来る民間企業を開拓、マッチング、就労後の支援を行うことで短時間就労の有効性を実証・確認するモデル事業を実施した。

(2) 週20時間未満就労モデル事業の概要

① 目的

就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える人が週20時間未満の短時間で働くことが出来る民間企業を開拓、マッチング、就労後の支援を行うことで短時間就労の有効性を実証・確認する。

② 対象

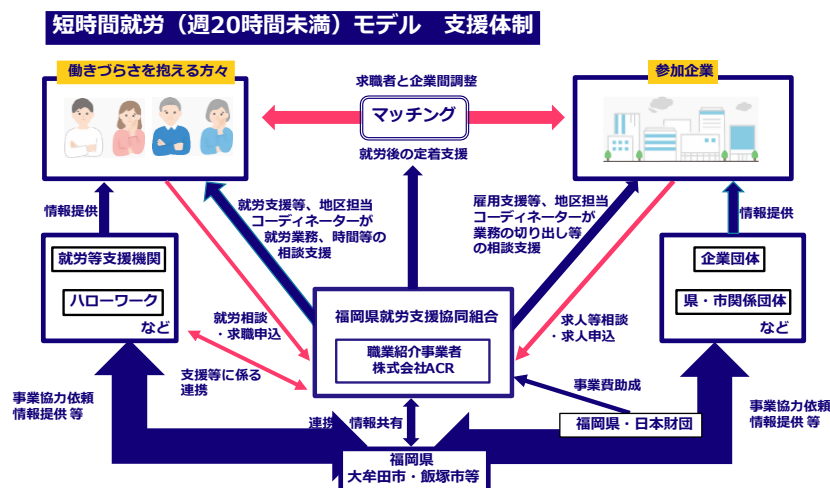
本事業の支援対象者は、働きづらさを抱える人とし、次の例示に該当する者とする。
(ニート、ひきこもり、難病患者、がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行等の問題を抱える少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親) 上記ほか、働きづらさを抱える人 など

③ 事業期間

令和4年度～令和5年度（予定）

④ 令和4年度支援体制

◆支援体制図（図1）



- ・ 当協同組合が選任するコーディネーターが働きづらさを抱える人と人手不足などに悩む企業の間に入り、職業紹介事業を行っている株式会社 ACR（以下 A C R と略す）や福岡県など各種機関と連携しながら支援を行う体制とした。

○コーディネーターの業務

- ・ 企業開拓及び、求人作業の切り出し
- ・ 支援機関に対する事業の広報、周知
- ・ 就労後の定着支援
- ・ 説明会の開催（ACR と共同）
- ・ 仕事カタログの作成（A C R と共同）
- ・ チラシ、ホームページ等、広報媒体の作成

○職業紹介事業者（株式会社 A C R）の業務（事業実施者から受託）

- ・ 求職者の個別相談の対応及び、求職登録手続き
- ・ 企業と求職者のマッチング
- ・ 求人票、求職票の作成・添削
- ・ 仕事カタログの作成（当協同組合と共同）
- ・ 説明会の開催（当協同組合と共同）

⑤ 令和4年度取組内容

ア. 事前準備・周知広報

- ・ 事業に興味を持つ企業及び求職者に対する説明会の開催を行う為、福岡県と大牟田市、飯塚市と調整の上、開催日・開催場所・開催時間等を決定した。
- ・ 説明会に係る資料を準備した。
- ・ 会場開催に加え、オンライン開催を行う為に必要な機材準備を行った。
- ・ WEBでの説明会参加申込みを可能とする申込みフォームを作成し、WEB上での公開等を行った。
- ・ 説明会の開催情報は、別途作成した専用ホームページ(図2・3)に記載し、当協同組合のホームページでのリンクを記載するとともに福岡県ホームページなどでの周知を依頼し、告知活動を行った。
- ・ 企業説明会、合同会社説明会の開催チラシを作成しWEB、メール、電話などでの申し込みを受け付けた。(図4・5)
- ・ 企業説明会の広告を新聞及びラジオに掲載した。
- ・ モデル事業について、報道機関から取材を受け、同市での取組について、当協同組合、福岡県、飯塚市が説明を行った。内容はTV番組で放送された。

RKB「ミライアングル」令和4年9月28日(水)放送

誰もが働ける環境に！～週20時間未満労働～

◆作成したホームページ（飯塚市）（図2）



URL : <https://iiduka-20miman-work.com/>

◆作成したホームページ（大牟田市）（図3）



U R L : <https://omuta-20miman-work.com/>

◆求職者説明会のチラシ例 (図4)

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」

【主催】福岡県就労支援協同組合
【受託会社】株式会社ACR 【協力】福岡県・大牟田市

【大牟田市にお住まいの方限定】

働きたいけど働いていない方、今の状態から一歩踏み出したい方
週20時間未満で働いてみませんか？あなたに合う働き方が見つかる！

合同会社説明会

参加無料
1/26 (木)

フルタイム勤務希望の方も、まずは短時間からはじめてみませんか？

会場 大牟田文化会館 研修室1・2 ※オンライン参加 (ZOOM) も可能
住所 大牟田市不知火町 2-10-2
アクセス JR 大牟田駅 徒歩5分 西鉄 大牟田駅 徒歩10分

就労までの流れ

説明会	事業内容・手続きを知る
企業選択	応募してみたい企業を選択する
申込	検討の結果、働きたい場合は求職を申込み
働き方検討	働きづらさの内容や働き方の希望を伝える
採用面接	企業に応募し、面接選考を受ける
就労決定	合格の場合は勤務条件などを確認する
サポート	就労後、定着のためのサポートを受ける

【開催日】2022年1月26日(木) 【定員】40名×2部制
【受付】開始20分前より 【参加費】無料
【開始時刻】1部：11時 2部：14時

詳しくはこちら → 大牟田市 週20時間未満就労 検索

本事業の対象となる方

- 家庭の事情や健康上の理由で「長い時間働けない」「苦手な仕事がある」など何らかの理由で、働きづらさを抱えている方
- 加えて、既存の支援機関で就労または、生活などの支援を受けている方が対象です。

長い時間働くことができない方
一般的な雇用条件の一つである「週20時間以上」の勤務が困難な方

苦手な仕事がある方
特性上、苦手な業務が含まれていた場合働き続けることが難しくなる方

例えば
・病気やケガの影響で、疲れやすい方
・定期的に通院が必要な方 など

例えば
・直接会話するのが苦手な方 (メールなどのやり取りは可能)
・身体機能に制限があり特定の作業が難しい方 など

プログラム

1部 11:00～11:30 2部 14:00～14:30

◆週20時間未満就労モデル事業について (10分) ※同一プログラムを1日2回行います
・事業概要 ・ご利用の流れ

◆就労までの流れ「ポイントや支援内容について」 (10分)
・20時間未満就労の働き方について・応募作成ポイント・就労前の準備について

◆参加企業の紹介及び、業務説明 (10分)

説明会終了後、個別相談実施 各時間先着順 (希望者のみ)

お申込方法 (いずれも可)

Web QRコードを読み込み
メール 20miman-work@fesc.jp
電話 092-406-5126

https://forms.gle/PggtgYyALbtqJjJW8

①～⑥を漏れなくご記入のうえ、お送り下さい 【申込期限】1/24 (火) 17:00

①お名前 ②電話番号 ③メールアドレス ④参加希望時刻 ⑤オンライン参加希望 ⑥個別相談 (希望日時あり)

※コロナ感染対策のため、希望時間を考慮して参加期間をご連絡致します。
※当日、個別相談を行う人数には限りがございます。希望者が多い場合は、後日、ご都合の良い時間に変更いたしますのでご了承ください。オンライン参加の方、個別相談を希望する場合は、後日、ご都合の良い時間で実施します。

お問合せ先
福岡県就労支援協同組合 担当：小島・小山
contact@fesc.jp 092-406-5126

◆企業説明会のチラシ例 (図5)

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」

【大牟田市所在の事業所限定】 詳しくはこちら 大牟田市 週20時間未満就労 検索

『週20時間未満の雇用』で、課題解決に取り組んでみませんか？

参加企業のご案内！！

週20時間未満の雇用に係る企業説明会を開催します。

12/6 (火) 参加無料

◆企業経営者様・人事ご担当者様

こんな悩み・困りごとは、ありませんか？
・採用活動でなかなか人が集まらない ・残業の恒常化 ・育児、介護離職などによる人手不足
・新しいプロジェクトなどを計画したいが、余力がなくて取り組めない
・日常清掃、やりたいと思う時間が取れず出来ない軽作業がある など

雇用までの流れ

業務内容の検討	悩み・困りごとを解決するための短時間業務の切り出し・創出 求人情報の作成
登録・申込	職業紹介の流れに沿って求人の申込
人材紹介	貴社の応募要件に合う求職者を紹介
採用面接	貴社にて面接選考 ※公正選考をお願いします
雇用開始	雇用開始までに雇用条件明示書を準備
フォロー	就労後、被雇用者が定着するようフォロー

業務内容の検討から雇用者のフォローまで、担当のコーディネーターがサポートします！

開催概要

【開催日】2022年12月6日 (火)
【時間】15:00～16:00 【参加費】無料
【定員】20社 (先着順) (オンライン参加定員なし)
【対象】大牟田市に本社、営業支店がある企業
【主催】福岡県就労支援協同組合
【受託会社】株式会社ACR
【協力】福岡県・大牟田市

会場・オンライン同時開催

(東場アクセス)
大牟田エコサウンクセンター会議室1・2
住所：福岡県大牟田市健倉町461
アクセス
西鉄大牟田より車で分 (Web参加 アクセス方法)
Web参加 アクセス方法
使用アプリケーション ZOOM
参加方法：お申し込みいただいたメールアドレスへ入室方法をお送りします。

● 本事業の対象となる雇用対象者

家庭の事情や健康上の理由で「長い時間働けない」「苦手な仕事がある」など何らかの理由で働きづらさを抱えている方

加えて、既存の支援機関で就労または生活などの支援を受けている方

◆長い時間働けない方
身体状態や決まった要件により労働条件に制限があるなど

◆苦手な仕事がある方
特性上、苦手な業務が含まれている場合働き続ける事が難しくなるなど

・病気やケガの影響で、疲れやすい人
・定期的に通院が必要な人

・メールやパソコンでのやりとりはできるが、直接会話するのが苦手な人
・身体機能に制限があり特定の作業が難しい人

● Q & A

Q：この事業による企業へのメリットは？
A：人材不足の解消、専門的業務を行う社員でなくてもできる仕事 週20時間未満の被雇用者に任せることで、働き方の改革・業務の効率化が図れます。また、多様な個性が集まりそれぞれの強みを発揮することで、様々な課題に対応できる強い組織を作ることが出来ます。

Q：費用は掛かりますか？
A：この事業の相談・紹介に掛かる費用はいただきません。但し、雇用契約による雇用となります。

● プログラム

15:00～ 15:05 ご挨拶 福岡県就労支援協同組合 理事長 中村 信二
15:05～ 15:15 週20時間未満の就労に係るモデル事業の背景について 福岡県福祉労働部 労働局 新規開発課
15:15～ 15:30 事業概要、参考事例について 福岡県就労支援協同組合
15:30～ 15:55 雇用までの流れ、ポイント、支援内容について 株式会社ACR：福岡県就労支援協同組合
・20時間未満雇用で見込める効果
・求人作成ポイント
・受け入れ態勢について
15:55～ 16:00 質疑応答

● お申し込み方法 メールもしくはQRコードで読み込み申し込みフォームへ記入ください

MAIL： 20miman@fesc.jp https://forms.gle/CC934LNHApzLpN46

①お社名 ②お名前 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤参加方法 上記、ご記入の上、メールにてお申し込みください (会場・Web)

● お問い合わせ先

福岡県就労支援協同組合 担当：小島・小山
MAIL： contact@fesc.jp 電話：092-406-5126

イ. 企業説明会、合同会社説明会の開催

事業利用企業及び事業利用者を確保するとともに、企業への短時間雇用の浸透、働きづらさを抱える人の就労意欲の向上に繋げるため、大牟田市及び飯塚市と協力しながら、

- (ア) 企業説明会
- (イ) 合同会社説明会を実施した。

(ア) 企業説明会の開催概要について

- ・開催時期 2022年8月から2022年12月まで
- ・開催回数 4回(大牟田市2回・飯塚市2回)
- ・開催会場 県や市の公共施設
- ・開催方法 会場参加及びオンライン
- ・説明会内容
 - 主催者あいさつ(5分)
 - 週20時間未満就労モデル事業の背景について(10分)
 - 事業概要と参考事例について(15分)
 - 雇用までの流れ、ポイント、支援内容について(20分)
 - 質疑応答(30分)

○ポイント

・多くの企業に参加の機会を設けられるよう、会場開催とオンライン開催など複数の参加形態を準備した。

<企業説明会開催スケジュールについて>

以下のスケジュールで説明会を実施した。

4月	
5月	
6月	
7月	企業説明会チラシ作成
8月	企業説明会参加企業募集開始・飯塚市(第1回企業説明会)
9月	大牟田市(第1回企業説明会)・ホームページ公開
10月	
11月	飯塚市(第2回企業説明会)
12月	大牟田市(第2回企業説明会)
1月	
2月	

3 月	
-----	--

(イ) 合同会社説明会の開催概要について

- ・開催時期 2022 年 9 月から 2023 年 2 月まで
- ・開催回数 8 回(大牟田市 4 回・飯塚市 4 回)
- ・開催会場 県や市の公共施設
- ・開催方法 会場参加、オンライン参加
- ・説明会内容
 - 主催者あいさつ(5分)
 - 週 20 時間未満就労モデル事業について(3分)
 - 就労までの流れ「ポイントや支援内容について」(10分)
 - 参加企業の紹介及び、業務説明(15分)
 - 質疑応答(30分)

○ポイント
・途中より、働きづらさを抱える人を支援している機関なども参加できるようにした。
・様々な働きづらさを抱える人が対象となるため、会場の環境が参加の妨げにならないような環境設定を行った。
・企業へ聞き取りを行い、作成した仕事カタログや求人票をもとに具体的な働き方や説明会後の問い合わせ、就労支援のイメージができるような説明に努めた。

<合同会社説明会開催スケジュールについて>

以下のスケジュールで実施した。

4 月	
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	説明会開催告知開始
9 月	飯塚市 (第 1 回合同会社説明会)
10 月	大牟田市 (第 1 回合同会社説明会) 飯塚市 (第 2 回合同会社説明会)
11 月	大牟田市 (第 2 回合同会社説明会) 飯塚市 (第 3 回合同会社説明会)
12 月	大牟田市 (第 3 回合同会社説明会)

	飯塚市（第4回合同会社説明会）
1月	大牟田市（第4回合同会社説明会）
2月	
3月	

ウ. 個別開拓

（ア）参加企業開拓

- ・ 新たな事業利用企業を確保するため、当協同組合及び当協同組合が選任するコーディネーターとACRが、行政機関、企業団体、当協同組合会員企業等を通じて企業を個別訪問し、週20時間未満の短時間雇用を実施する企業の開拓を行った。
- ・ ラジオ、新聞などを活用した広報を行い、モデル事業に参加する企業の募集を行った。

（イ）求職者開拓

- ・ 新たな事業利用者を確保するため、当協同組合及び当協同組合が選任するコーディネーターとACRが、支援機関及び関係機関へのチラシの配付や個別訪問を行い、週20時間未満の短時間で働く求職者の開拓を行った。
- ・ SNS（Line、Twitter）やホームページなどを活用した広報を行い、モデル事業に参加する求職者の募集を行った。

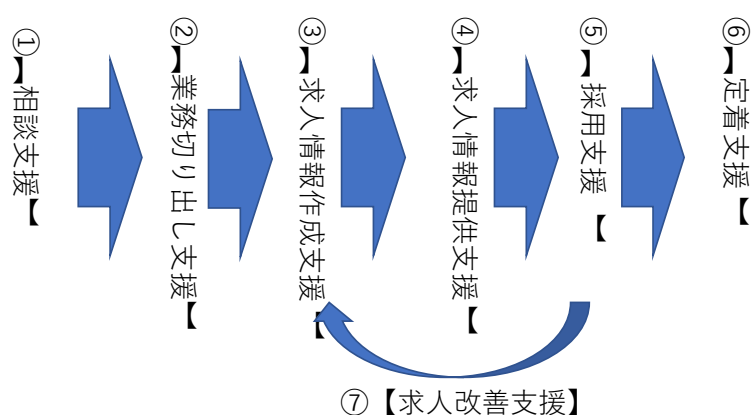
エ. 企業への支援

(ア) 支援の流れ

説明会后にフォロー連絡を行う。

事業を利用することになった企業へは以下の支援を行っていく。

◆支援の流れ（図6）



(イ) 支援内容詳細

① 【相談支援】

- ・企業説明会後のアンケート、個別開拓後のフォローアップにより、困りごとがある企業に対面またはオンラインで内容の聞き取りを行い、問題点の整理を実施
- ・短時間雇用により解決の可能性がある場合は、モデル事業の利用を提案
- ・企業が抱える課題を確認（なぜ課題が発生しているのか）

○ポイント

- ・モデル事業の利用は強制せず、企業の意向を尊重した。
- ・求人票の受理のみだと、職場の雰囲気が分かりにくい。漠然と“人が集まらない”と言う課題を述べる企業担当者が多い。なぜ人が集まらないのかを確認し、集まらない原因が当事業にて解決可能であれば事業への参加を提案。

② 【業務切り出し支援】

- ・事業の利用を決定した企業に対面またはオンラインで業務の詳細を聞き取り、分解することで、新規雇用により困りごとが解決する業務を切り出し

○ポイント

- ・採用を検討した背景、企業の課題も確認することで、業務の切り出しにあたり、企業に有益となっているか検討した。
- ・働きづらさを抱えた人に過度に負担をかけず、企業の戦力になれるよう、まずは補助作業や既存スタッフでは手の届きにくい作業を切り出しの候補とした。
- ・企業の現場担当スタッフを明確にし、定着支援を行うコーディネーターとの連携を確認しておくことで、企業とコーディネーターとの連携が円滑に行える体制を整えた。

③ 【求人情報作成支援】

- ・切り出した業務及び企業が希望する採用条件から求人票を作成
- ・仕事カタログの作成

○ポイント

- ・求人票を作成する場合には、内容が法律上問題ないか添削を行うとともに、企業に内容を確認した。
- ・労働基準法に則って作成を行い、同事業に関わる職業紹介事業者は求人を受理する際は、企業へ自己申告書の提出を求め、労働基準法違反、職業安定法に於いて違反につながる事項が無いか確認を行う。また求職者が仕事の具体的なイメージをつかむことで、応募に繋がるよう、定量的な表記を行う。
- ・求職者が仕事の具体的なイメージをつかむことで、応募に繋がるよう、具体的な仕事内容、企業の特徴や雰囲気がわかりやすい仕事カタログを作成した。
〈例〉仕事内容は「軽作業」のような漠然とした表記ではなく、「軽作業：10 kgの段ボール箱を10m程動かす仕事」等、明確にする。

④ 【求人情報提供支援】

- ・合同会社説明会にて、求職者に対して求人内容を説明する機会を提供
- ・一部の企業に関しては、企業に代わって、当協同組合が求人内容の説明を実施

○ポイント

- ・求人内容だけでなく、職場の雰囲気やサポート体制について説明を行うことで、職場の魅力が伝わるよう工夫した。

⑤ 【採用支援】

- ・企業の求人内容に対して求職条件がマッチする者の選考を行い、企業に紹介
- ・面接の日程調整
- ・雇用の為に必要な労働条件通知書等の作成支援
- ・採用時の勤務時間や日数の条件調整
- ・職場見学や就労体験の実施（企業及び求職者が希望する場合）

○ポイント

- ・企業、求職者の双方が希望する際には職場見学や就労体験を実施し、働きづらさへの先入観なく、採用可否を判断できる機会を提供した。
- ・採用決定後は、働き方や勤務時間、勤務日数などの調整、確認を企業と就労予定者の間に入って行った。

⑥ 【定着支援】

- ・企業に対して、対面や電話でのヒアリングを実施
- ・職場訪問を実施
- ・必要に応じて企業と就労者の間に入って調整

○ポイント

- ・企業に対するヒアリングは、雇用開始前、雇用後2週間程度に1回と定期的に行い、困りごとがないかなどを事前に確認した。
- ・職場訪問では、就労者が働いている様子、既存のスタッフが指導を行う中で困っていること、現場での意見などを確認し、必要に応じて助言した。
- ・企業と就労者との間で要望や不満があっても、直接は話しづらいため、間に入って調整できることを伝えた。

⑦ 【求人改善支援】

- ・雇用まで至らない場合、求人内容の修正、新たな求人の作成支援を実施

○ポイント

- ・求人に対して応募者が現れない場合、求人の課題点を抽出し企業側へ提案した。
- ・求職登録者とのマッチングを図るために定期的な打ち合わせを行い、求人内容の変更や新たな求人の作成支援を行った。

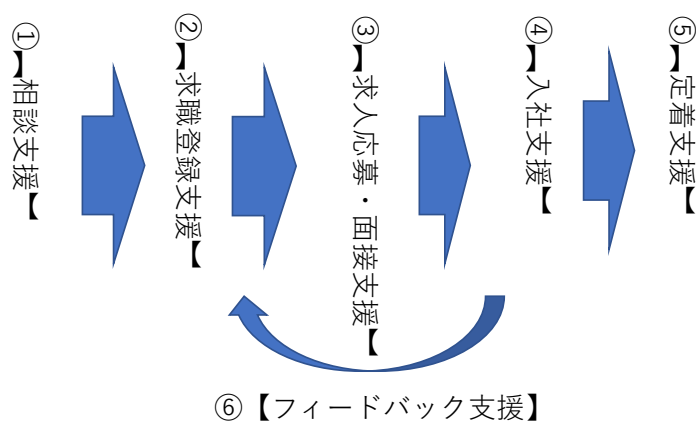
〈例〉 専門職や経験者を求めている企業に対して、専門職や経験者の補助的な業務を切り出し、業務の効率化を図ることで、企業の困りごとの改善につながる求人とする。

オ. 求職者への支援

(ア) 支援の流れ

説明会後にフォロー連絡を行う。事業を利用する求職者へは以下の支援を行っていく。

◆支援の流れ（図7）



(イ) 支援内容詳細

① 【相談支援】

・困りごとに対して具体的な聞き取りを行い、困りごとを解決できる支援を検討

○ポイント

- ・現在の具体的な働きづらさをそのまま受け止めることで、本人が抱えている悩みを緩和し、信頼関係を築くように努めた。
- ・アドバイスではなく、一緒に支援内容を検討することで、本人が自分で考え、気づききっかけを与えるように努めた。
- ・聞き取りを行う際には、事前に聞き取りたい内容を本人に伝えた上で、同意が取れたものについて行うよう注意した。
- ・聞き取りを行う際には、プライバシーを守る環境を整えるため、相談ブースはパーテーションで必ず囲み、またブース間の間隔も会話が聞こえない様に十分な距離を確保した。
- ・本人からの直接の聴取が難しい場合は、求職者に同意を得たうえで利用している支援機関に確認を行い、情報共有などの連携に努めた。

② 【求職登録支援】

- ・求職登録票の作成支援・添削

○ポイント

- ・求職登録票を一旦検討中とした場合、その後求職登録につながらない傾向があるため、求職登録希望者からは説明当日に求職登録票の作成、回収を行うことが望ましい。
- ・求職登録票説明の際に、求職者の個別の困りごとや事情をどこまで企業へ伝えてよいか確認。応募の際にも再度確認した。
- ・企業へ書類提出の際には推薦状を作成し、個別の困りごとや事情、希望を伝える場合は書面とした。また書類を提出する際、確実に書類が届いたか確認する為に、郵送ならばレターパック、簡易書留を使用した。

③ 【求人応募・面接支援】

- ・働き方や仕事内容を求職者へ説明
- ・求職者のスキルにあった求人への応募提案
- ・求人応募代行
- ・面接の日程調整
- ・面接同行（求職者が希望し企業が了承した場合）
- ・職場見学や就労体験の実施（企業及び求職者が希望する場合）

○ポイント

- ・実際に働く際の注意事項や、企業側との連携を確認し求職者が安心できるよう努めた。
- ・求職者によっては緊張をして上手く話せない方もいる。個別の状況などを伝えられなかった場合は、後からフォローを行った。
- ・企業、求職者の双方が希望する際には見学や就労体験などを実施し、実際に働けるかを判断できる機会を提供した。
- ・履歴書の作成を支援する場合は過去勤務経歴を聞き取り、勤務期間や志望動機が空欄とならない様に努めた。
- ・企業によっては職務経歴書を求められるケースもある。作成する際には書き方に慣れていない求職者も多い為、フォーマット等を用意し書類の作成を支援する。勤務経歴が少ない求職者の場合、得意分野等を記載するように努めた。
- ・就労体験については、期間をある程度定めて行う。体験時の給与については企業によってさまざまだが、在籍している支援機関がある場合は給与受取りにより支援への支障がないか十分な確認を行う。例えば、障がい者施設に通所し就労している者が支援機関での有給休暇などを使用して体験をする際には、ダブルワークになる為、残業などが発生した場合の労務管理に十分な注意を行った。

④ 【入社支援】

- ・入社前に必要な書類の作成支援
- ・採用時の勤務時間や日数の条件調整
- ・入社前ヒアリングを実施

○ポイント

- ・入社決定後は、働き方や勤務時間、勤務日数などの調整、確認を企業と就労決定者の間に入って行った。
- ・労働条件通知書により、就労条件、働き方に相違がないか改めて確認を行った。
(定期通院の有無や身体的に難しい動作など)
- ・入社前の不安点などを聞き取り、企業と事前に打ち合わせを行うことで不安の軽減に努めた。

⑤ 【定着支援】

- ・定期的（要望あれば随時）に対面や電話でのヒアリングを実施
- ・職場訪問を実施
- ・企業へ勤務状況の聞き取りを実施
- ・必要に応じて企業と就労者の間に入って調整

○ポイント

- ・困りごとがあった際に就労者が一人で悩まないよう、定着支援の内容を説明し、随時対応できる体制を整えた。
- ・ヒアリングは、今まで支援を行っている者が就労開始後2週間程度に1回と定期的に行うことで、不安を軽減し、企業への定着をサポートした。
- ・ヒアリングでは、現在の勤務形態や働き方に関して確認を行い、対人関係など職場環境や仕事内容に関する困りごとがないか確認した。
- ・職場訪問では、就労者が働いている様子、既存のスタッフが指導を行う中で困っていること、現場での意見などを確認し、必要に応じて職場環境の改善や就労者への助言を行った。
- ・企業と就労者との間で要望や不満があっても、直接は話しづらいため、間に入って調整出来る事を伝えた。
- ・業務に慣れ、就労者の意向と企業の意向が一致すれば、勤務時間の拡大や、業務の幅を広げていくことでステップアップに努めた。

⑥ 【フィードバック支援】

・採用まで至らない場合、現在の求人の情報を踏まえて、求職票の見直しを検討し
添削支援を実施

○ポイント

・落選通知については企業から具体的な内容をヒアリングし求職者へのフィードバックを行う。伝え方は人によって配慮するが、必ず次の選考や今後の求人の選び方の参考になる内容とした。

カ. 有識者会議・実行委員会運営支援

事業の実施にあたっては、実効性を高めるため、県が設置した実行委員会及び有識者会議にて意見を求め事業を行うための参考とした。会議では資料に掲載する情報の提供、会議議事録の作成を行った。

(ア) 実行委員会

○第1回実行委員会

開催日：2022年5月31日

○第2回実行委員会

開催日：2022年8月24日

○第3回実行委員会

開催日：2022年10月26日

○第4回実行委員会

開催日：2023年1月13日

(イ) 有識者会議

○第1回有識者会議

開催日：2022年6月30日

○第2回有識者会議

開催日：2022年9月7日

○第3回有識者会議

開催日：2022年11月2日

○第4回有識者会議

開催日：2023年1月18日

(※実行委員会の様子)



2. モデル地区の状況

(1) 飯塚市

① 飯塚市の特徴

平成 18 年 3 月 26 日に 1 市 4 町（飯塚市、穂波町、筑穂町、庄内町、潁田町）が合併し誕生

面積 213.96 km²で福岡県のほぼ中心に位置

人口 126,364 人（令和 2 年 1 0 月 1 日現在）※

男性 60,174 名 女性 66,190 名 総世帯数 55,762 世帯

※飯塚市国政調査より抜粋

② 令和 4 年度の取組結果

ア. 企業に対する取組

(ア) 説明会開催（36社参加、うち8社求人登録）

○飯塚市第1回企業説明会（2022年8月29日）

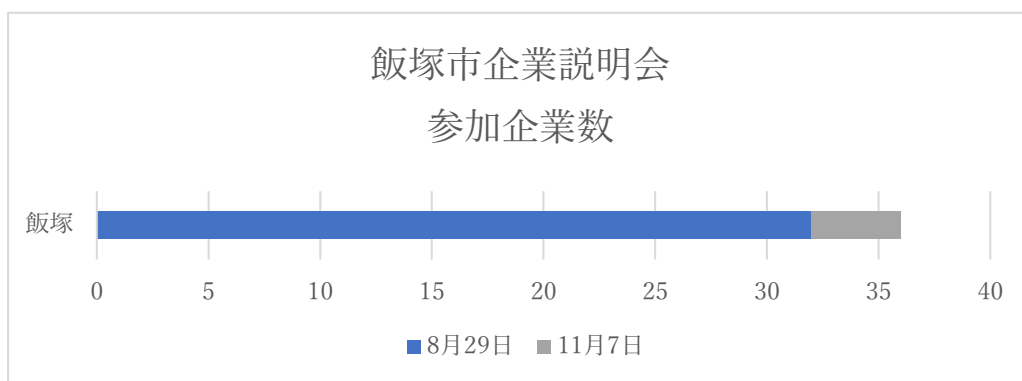
・会場 飯塚市役所

・参加企業 32社（会場 25名、オンライン 7名）

○飯塚市第2回企業説明会（2022年11月7日）

・会場 飯塚市役所

・参加企業 4社（企業 4社、オンライン 0名）



(イ) 個別開拓（17社訪問、うち8社求人登録）

- ・モデル事業参加のためのチラシを作成し、反応があった企業に対して直接訪問し事業説明を行った。
- ・ハローワーク飯塚でのチラシの配架
- ・飯塚商工会議所での会報誌への掲載を依頼
- ・飯塚商工会での所報への掲載を依頼

◆飯塚市での企業募集のチラシ1（図9）

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」

目ま THE NIPPON 財団 FOUNDATION

『週20時間未満の雇用』で、課題解決に取り組んでみませんか？

飯塚市に本社・営業支店がある企業が対象

◆企業経営者様・人事ご担当者様

こんな悩み・困りごとは、ありませんか？

- ・採用活動でなかなか人が集まらない
- ・残業の恒常化・育児・介護離職などによる人手不足
- ・新しいプロジェクトなどを計画したいが、余力がなくて取り組めない
- ・日常清掃、やりたいと思うが時間が取れず出来ない軽作業がある など

雇用までの流れ

業務内容の検討 → 悩み・困りごとを解決するための短時間業務の切り出し・創出
求人情報の作成

登録・申込 → 職業紹介の流れに沿って求人申込

人材紹介 → 貴社の応募要件に合う求職者を紹介

採用面接 → 貴社にて面接選考 ※公正選考をお願いします

雇用開始 → 雇用開始までに雇用条件提示書を作成

フォロー → 就労後、被雇用者が定着するようフォロー

業務内容の検討から雇用までのフォローまで、担当のコーディネーターが支援します！

【主 催】福岡県就労支援協同組合
【受託会社】株式会社ACR
【協 力】福岡県・飯塚市

より詳しい事業概要、求人情報などはHPをご覧ください。 飯塚市 週20時間未満就労 検索

本事業の対象となる雇用対象者

家庭の事情や健康上の理由で『長時間働けない』『苦手な仕事がある』など
何らかの理由で働きづらさを感じている方

加えて、既存の支援機関で就労または生活などの支援を受けている方

◆長時間働けない方
身体状態や決まった要件により労働条件に制限があるなど

◆苦手な仕事がある方
特性上、苦手な業務が含まれている場合働き続ける事が難しくなるなど

例えば
・病気やケガの影響で、寝れやすい人
・定期的に通院が必要な人
・在宅介護中の方
・子育て中の方

例えば
・通話会議するが苦手な人（メールやPCでのやり取りは可能）
・特定の作業が難しい人

Q & A

Q：この事業による企業へのメリットは？
A：人材不足の解消。専門的業務を行う社員でなくてもできる仕事を週20時間未満の被雇用者に任せることで、働き方の改革・業務の効率化が図れます。また、多様な個性が集まりそれぞれの強みを発揮することで、様々な課題に対応できる強い組織を作ることが出来ます。

Q：費用は掛かりますか？
A：この事業の相談・紹介に掛かる費用はいただきません。但し、雇用契約による雇用となります。

求職者情報 例

No.1
希望職種：経理、会計
主要経歴：個人事業主への決辞
業務48年
希望収入：5万円/月

No.2
希望職種：応相談
主要経歴：設備管理20年以上
（設備補修、メンテナンス）
希望収入：920円/時

お問い合わせ先

福岡県就労支援協同組合 MAIL：contact@fesc.jp
担当：小島・中島 電話：092-406-5126

◆飯塚市での企業募集のチラシ2（図10）

福岡県就労支援協同組合
理事長 中村 信二

週20時間未満就労モデル事業につきまして（お願い）

当組合では公益財団法人日本財団及び、福岡県からの助成を受け、『障がい・難病・家族の介護・高齢者などの様々な事情により、フルタイムで働くことは難しいが、週20時間未満の短時間で働けば働くことができる方を対象に、短時間就労の有効性を検証、確認をおこなうモデル事業をしております。つきましては、本事業の詳細、短時間雇用のメリット、雇用までの流れ、支援内容など、個別に説明を行っておりますので、弊社の方でご検討頂けますようお願い致します。

ご多用中まことに恐れ入りますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

枚具

【支援体制図】

短時間就労（週20時間未満）モデル 支援体制

企業側
人材紹介
就業支援
就業後フォロー

求職者
就業後フォロー
就業後フォロー

支援体制図

◆当組合の地区担当コーディネーターが、働きづらさを感じる方々と人手不足などに悩む企業の間に入り、職業紹介事業を行っている株式会社ACRや福岡県・飯塚市など各種機関と連携しながら支援を行う体制になっています。

週20時間モデル事業の作業分担（求職者 切り出し業務 例）

仕事の切り出しによって短時間で業務の作業設定を行い「補助作業」や「既存スタッフでは手の届きにくい作業」を行って頂くことで、人手不足解消や企業価値向上に繋がっていく。

1日3時間
1日2時間
1日1時間

週20時間未満就労モデル事業

上記のように
週20時間モデル事業の雇用参考事例として
例：1日3時間を週3日 1日2時間を週4日などが検討できるかと思います

◆雇用までの業務内容の検討から雇用者のフォローまで担当のコーディネーターが支援を行います！

本事業のホームページも作成しております
詳しくはこちら ⇒ 飯塚市 週20時間未満就労 検索

■本モデルの実施地域として飯塚市に本社、営業支店がある企業のみ対象となります。
■事業へのご参加により、必ず雇用しないといけないわけではありません。
■支援にかかる費用は無料となっております。

お問い合わせ先
福岡県就労支援協同組合
担当：小島 中島
TEL 092-406-5126 FAX 092-401-1121
メール contact@fesc.jp

(ウ) 個別支援 (16社)

企業の困りごとは様々なものがあったが、多くの企業が人手不足に悩みを抱えている状況であった。現在、短時間雇用を取り入れている企業は少なく、現在働いている方のほとんどが、専門的知識や経験が必要な仕事と補助的な業務を兼用しながら行っている現状が多くあった。仕事内容を分析し仕事を明確化し短時間での働き方を企業へ提示することで短時間での多様な働き方を創出することが出来た。

詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状態	企業名	業種	事例掲載
飯塚市	求人登録済 雇用決定	筑豊ラーメン山小屋 穂波店	飲食サービス	○
		求人登録済 未雇用	麻生介護サービス(株)	介護・福祉
	麻生メディカルサービス(株)		介護・福祉	○
	小黒食堂		飲食サービス	○
	(有)南星観光		自動車運送	○
	鶴留社会保険労務士事務所		専門サービス	○
	(株)プリンス興商		不動産・物品賃貸	○
	赤間登記測量事務所		専門サービス	○
	福岡ソフトウェアセンター		IT関連	
	NPO法人 AFO		福祉	○
	(株)FORWARD		福祉	○
	デイサービスセンターわかな		福祉	○
	(株)地蔵		食品製造・販売	○
	セブンイレブン鯉田店		卸売・小売	
	(株)challenge		専門サービス	○
	NPO法人 BRIDGE	専門サービス	○	
支援企業計		16社		

雇用済：筑豊ラーメン山小屋

所在地：飯塚市

業種：飲食業

従業員：7名

事業内容：九州筑豊ラーメンのフランチャイズチェーン店運営

設立年：1944年



今回の事業に参加したきっかけ

飯塚市からの案内があり、週20時間未満就労のモデル事業を知った。

人手不足に困っており、求人を募集していたが決まらない状態であったため、補助業務や忙しい繁忙時などサポートして貰うことで、人手不足が解消できるのではないかと考えた。

支援内容

業務切り出し支援：企業に人手不足で困っている業務（ホールスタッフ）を聞き取り、食器引き、食器洗浄、片付けの3つの業務に切り出した。

求人情報作成支援：切り出した業務に係る企業の採用条件を確認し、求人票を作成代表、従業員へのインタビューを行い、長年勤務している高齢者が在籍している事をPRポイントとする求職者説明会用の仕事カタログを作成

求人情報提供支援：仕事カタログの内容を企業に代わって説明会で説明した。

採用支援：面接時に作業を体験し、個別の事情が実際の業務負荷に耐えられるか、確認の場を設置できるよう提案した。

定着支援：就労者に聞き取りを行い、就労を行う上で生じた身体的問題、精神的な問題に対して、業務を行う上での工夫などの支援を企業に代わって行った。

<採用者①>R5.1.10~R6.1.9 週3日間 4時間/1日 食器洗浄

<採用者②>R5.1.16~R6.1.15 週4日間 4時間/1日 食器片づけ

支援のポイント

- ・分解した業務の雇用条件アドバイス、リーガルチェックを行い業務の就労条件を調整し求人票の作成を行った。
- ・就労者が高齢または持病を持っていたことから、就労後疲れが出る可能性が高いと考え、ヒアリングのタイミングを早め、無理をしていないか確認したこと。

事業参加企業の感想

初めはどのような方が応募に来られるのかわからない状況であったが、実際に雇用してみて、現在はスタッフとも打ち解け、しっかりと働いていただいております。今後の支援としては、身体状況や病院通院などの用事に配慮しながら勤務日数や勤務時間、業務内容を調整していきたいと考えています。

成果・課題

【成果】

- ・業務を分解し、短時間だけでも働ける方を募集することで就労者を2名確保出来た。
- ・補助的な業務や繁忙時だけの勤務でも、既存のスタッフが行う仕事の負担が軽減し、恒常的な人手不足の改善につながった。

【課題】

- ・現時点ではなし。

未雇用：麻生メディカルサービス（株）

所在地：飯塚市

業種：福祉

従業員：267名

事業内容：福祉用具の販売・レンタル、介護サービス、義肢曹装具政策販売、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅

設立年：1987年

今回の事業に参加したきっかけ

普段から、介護サービスを行う有資格者の人手不足に課題を抱えていたところ、グループ会社よりダイレクトメールで届いたチラシが共有され8月29日飯塚市の企業説明会参加。

支援内容

業務切り出し支援：企業に人手不足で困っている業務を聞き取り、20時間未満で行える業務として①訪問介護②夜間当直を切り出した。

求人情報作成支援：切り出した業務で求人票を作成し、仕事カタログを作成した。

採用支援：求職者の中で、企業の求人とマッチする求職者2名へ応募打診

求人改善支援：有資格者求人だけの募集では、求職者が現れなかった為、企業が抱える困りごとを改善する手段として無資格者でも行える業務として、③送迎④夜間当直（無資格）⑤販売の切り出しを行った。

現在の状況

- ・有資格者の業務から、無資格でも行える業務を切り出し、有資格者がゆとりを持てる求人内容を作成した。有資格者、無資格者のどちらでも行える業務となったことで、対象者が広がったことから、改めて求職登録者へ案内中。

未雇用：麻生介護サービス（株）

所在地：飯塚市（本社：福岡市）
業種：介護・福祉
従業員：1,200名
事業内容：小児から高齢者まで幅広いお客様に、医療・介護サービスの提供
設立年：2007年



今回の事業に参加したきっかけ

事業を実施している職業紹介事業者からのダイレクトメッセージでモデル事業の事を知り、企業説明会へ参加。
慢性的な有資格者の人手不足に悩んでおり、事業の運営を円滑に行う為に事業へ参加した。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取る中で、モデル事業に合う業務として、①介護、②訪問介護、③家事代行の業務を切り出した。
求人情報作成支援：切り出した業務から勤務体系などを確認し求人票を作成した。
求人情報提供支援：企業に代わり業務内容の説明を行い、求職者1名へ応募打診
求人改善支援：飯塚市での無資格求人を提案し、新たな求人業務を作成

現在の状況

- ・求職者1名に打診を行ったが、応募までには至っていない状況である。
- ・求人業務は、成果報酬型の勤務形態であり働き方が自由である半面、収入については固定ではない。ミスマッチを防ぐため、この事を十分に伝え、求職者に打診していく。

未雇用：小黒食堂

所在地：飯塚市
業種：食堂、レストラン
事業内容：事業所向け弁当の販売
設立年：2014年

今回の事業に参加したきっかけ

事業拡大に伴う、人手不足に困っており、事業実施者から配布されたチラシにより事業の事を知り、8月29日の企業説明会に参加。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、①弁当の販売（配達）②調理を切り出した。

求人情報作成支援：切り出した業務内容から求人票を作成した。

求人情報提供支援：企業に代わり、求職者へ業務の説明を行い、求職者4名へ応募打診

現在の状況

- ・業務内容と条件の合う、求職者へ打診を行っているが、応募までには至っていない状況である。
- ・本企業は、既に精神障がい者を短時間で雇用していることから、個別の事情にも理解のある職場である事を踏まえ、引き続き求人情報提供支援を行っていく。

未雇用：（有）南星観光

所在地：飯塚市
業種：一般貸切旅客自動車運送事業
従業員：12名
事業内容：貸切バス
設立年：1983年



今回の事業に参加したきっかけ

事業実施者からの紹介でモデル事業の事を知り、企業説明会へ参加。
既存の従業員に依頼すると仕事の負担となる為、補助的な業務を行える求職者を募集したいと考えた。

支援内容

業務切り出し支援：手が回っていない補助的業務を聞き取る中で、SNS、web サイトを使用した広報に関わる業務の切り出しを行った。
求人情報作成支援：切り出しを行った内容から求人票を作成した。
求人情報提供支援：企業に代わり業務内容の説明を行い、求職者2名へ応募打診
採用支援：企業の求人内容に対して求職条件がマッチする者の選考を行い、1名を候補者として打診

現在の状況

- ・打診を行った求職者2名の内1名は応募までには至っていない状況である。
- ・企業に打診した求職者1名は書類選考の結果、採用見送り。
- ・SNS、web サイトを使用した広報ではネットリテラシーが要求される為、求職者へ打診を行うにあたり、求職者の保有するスキルを十分確認しながら打診を行った。

未雇用：鶴留社会保険労務士事務所

所在地：飯塚市
業種：専門サービス業
従業員：6名
事業内容：社会保険労務士事務所
設立年：2008年

今回の事業に参加したきっかけ

当協同組合から連絡を取り、直接訪問を行って、事業内容を説明した。専門性の高い業務に於いて該当者が見つからない状態であったが、説明を聞き、まずは、簡単な事務補助を行ってくれる人材を確保出来ればと考え参加した。

支援内容

業務切り出し支援：全般的な業務を聞き取り、事務職を2つに細分化することで、①一般事務補助②一般事務③RPA導入担当を切り出した。

求人情報作成支援：聞き取った内容から求人票を作成した。

求人情報提供支援：求人以外の業務となるが、求職者と面談を行う中で広報関連業務のスキルがある者の採用希望有無について企業へ確認を行った。採用希望との意向を受けて、1名を候補者として打診し、採用判断基準として、映像編集課題を設定し、企業が応募者のスキル確認ができるようにした。

現在の状況

- ・求職者に面談を行う中で、判明した映像編集職種希望者について、中小企業で共通の課題である広報力向上に活かせると考え、提案したところ、企業の意向と一致した為、広報関連業務のポジションを提案し書類選考、課題選考まで進む事が出来た。
- ・求人業務のうち、③RPA導入担当に関しては、モデル事業以外で決定した為、現在の求人は2種類である。
- ・新規提案した広報関連業務は、書類選考、課題選考後、企業の選考により不採用となったが、求人可能業務が増やせたことから、新たな求職者への打診を行っていく。

未雇用：(株) プリンス興商

所在地：飯塚市

業種：不動産・物品賃貸業

従業員：20名

事業内容：カラオケボックス運営、音響設備・技術、通信カラオケ販売・レンタル・リース、不動産賃貸業、音響設備レンタル

設立年：1981年

今回の事業に参加したきっかけ

コーディネーターが電話でアポイントを取り、実際に訪問し事業を説明
慢性的な人手不足を感じており、求人募集をしても応募が来ない為、事業に参加した。

支援内容

業務切り出し支援：聞き取った業務内容を、ホールスタッフ、キッチンスタッフ、警備員
で細分化し①調理②ホールスタッフ③警備員の切り出しを行った。

求人情報作成支援：切り出した業務で求人票を作成した。

求人情報提供支援：企業に代わって求職者へ業務内容の説明を行い、求職者2名へ応募打診

現在の状況

- ・①調理と③警備員を各1名打診するも、求職者が断った。
- ・①調理②ホールスタッフについては希望時間の相談が可能である為、求職者へ打診を行う際には、特に説明していく。

未雇用：赤間登記測量事務所

所在地：飯塚市
業種：土地家屋調査士（専門職）
従業員：2名
事業内容：不動産の表示に関する登記測量
設立年：1957年

今回の事業に参加したきっかけ

当協同組合との繋がりから、モデル事業の事を知り説明会へ参加
地域環境整備に取り組んでいる中で、自社周辺の花壇整備等を行うスタッフを募集して
おり事業へ参加した。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、花壇整備と清掃の仕事を創出した。
求人情報作成支援：創出した仕事の内容を元に求人票を作成した。
求人情報提供支援：企業に代わり、求職者へ業務の説明を行い、求職者2名へ応募打診

現在の状況

- ・打診を行っているが、応募までには至っていない。
- ・花壇の整備と清掃の業務を分けるなど新たな求人の提案などを行っている。

未雇用：NPO 法人 AFO

所在地：田川市
業 種：福祉
従業員：60 名
事業内容：就職困難者への就職支援
設立年：2010 年

今回の事業に参加したきっかけ

本事業へ求人を登録している企業から紹介があり、支援員の募集をかけているが、応募が中々こない現状があった為、モデル事業へ参加。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、資格がなくても実施出来る業務として①就職困難者の方の就職を支援、サポート②障がいを持った方への相談及び支援全般（相談支援員）の切り出しを行った。
求人情報作成支援：求人内容のリーガルチェック、詳細のヒアリング
求人情報提供支援：求職登録者 2 名へ応募を打診し 1 名が応募
採 用 支 援：応募のあった 1 名の面接に同席。面接内容の確認を行った。

現在の状況

- ・面接の結果、登録者の経歴と企業が欲しているスキルが合致した 1 名が、4 月 1 日からの勤務で採用決定するも、労働条件開示後、企業、登録者双方の希望が合わず登録者より内定辞退
- ・引き続き、求職者への打診を行っていく。

未雇用：（株）FORWARD

所在地：飯塚市

業種：福祉

従業員：9名

事業内容：グループホーム運営、障がいを持った方への相談及び支援全般

設立年：2014年

今回の事業に参加したきっかけ

本事業へ求人を登録している企業から紹介があり、支援員の募集をかけているが、応募が中々こない現状があった為、モデル事業へ参加。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、資格がなくても実施出来る業務として障がいを持った方への相談及び支援全般（相談支援員）の切り出しを行った。またグループホームについても食事の準備、利用者の送迎、室内清掃（支援員）の切り出しを行った。

求人情報作成支援：求人票の作成、契約内容に問題がないかの確認を行った。

現在の状況

- ・業務の実施が可能と思われる求職登録者に案内中。

未雇用：デイサービスセンターわかな

所在地：飯塚市
業種：高齢者介護
従業員：16名
事業内容：通所介護事業
設立年：2010年

今回の事業に参加したきっかけ

コーディネーターが電話でアポイントを取り、実際に訪問し事業を説明。
慢性的な介護スタッフ（有資格者）の人手不足に困っていた為、事業に参加。

支援内容

業務切り出し支援：多方面から求人の切り出しを検討したが、有資格者の人手不足に困っており、結果的に短時間での介護スタッフ業務を切り出した。
求人情報作成支援：切り出した業務内容から求人票を作成した。
求人情報提供支援：求職者の中から有資格の求職者1名に応募打診

現在の状況

- ・資格を有する求職者へ打診を行っているが、連絡が取れない状況である。
- ・応募者が現れない場合には、必要に応じて新たな求人票の作成を行っている。

未雇用：（株）地蔵

所在地：飯塚市
業種：食品製造
従業員：32名
事業内容：大豆加工製品の製造、卸販売
設立年：2010年

今回の事業に参加したきっかけ

本事業へ求人を登録している企業から紹介があった。
職場が車でないと通勤困難な地域にあり、現状では募集しても中々人材が集まらないことから事業へ参加

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取り、過去に企業が実施した働きづらさを抱える方の雇用事例の確認を行いながら①食品製造②在庫管理の業務を切り出した。

求人情報作成支援：聞き取った内容から求人票を作成

求人情報提供支援：企業に代わり求人内容を説明し、求職者1名へ応募打診

現在の状況

- ・企業の所在地が山中となる為、交通の手段については求職者への慎重な説明を行いながら打診中。
- ・1名に打診を行ったが、応募までには至っていない。
- ・必要に応じて求人票の変更や新たな求人を作成を行っていく。

(株) Challenge

所在地：飯塚市
業種：保険業
従業員：1名
事業内容：総合保険代理店
設立年：2021年

今回の事業に参加したきっかけ

本事業へ求人を登録している企業から紹介があり、事務員を探していた為、モデル事業へ参加。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について詳細を確認。保険に関するコール対応の業務を切り出した。

求人情報作成支援：切り出した業務内容から求人票を作成した。

現在の状況

- ・ PC の作業が必須である事から、企業が望む PC スキルについての確認を行った。また慢性的な課題では無く、現在進行形での求人発生である事から、企業が求める人材の効率的な採用活動が行える様に福岡県若者就職支援センターの案内も行った。
- ・ PC スキルや業務負担の確認を行いながら打診中。

NPO法人 BRIDGE

所在地：飯塚市

業種：その他の事業サービス業

事業内容：コンサルティング事業、就労継続支援、教育、ワークショップの企画・運営

設立年：2020年

今回の事業に参加したきっかけ

当協同組合から説明を受けモデル事業を知った。今後受託する業務に於いて人材を確保する為モデル事業に参加。

支援内容

業務切り出し支援：マンション管理会社から受託する業務の内、福岡市内のマンションの清掃、見回り業務（飯塚市内の職場から社用車で移動）の切り出しを行った。

求人情報作成支援：切り出した業務内容から求人票を作成した。

現在の状況

- ・受託する業務により勤務地や業務内容が異なることから、労働条件の確認を慎重に行った。
- ・単発（数日）の業務からスタートしたい求職者へ打診中。

イ. 求職者に対する取組

(ア) 説明会開催（61名参加、うち8名求職登録）

○飯塚市第1回合同会社説明会（求職者）（2022年9月28日）

- ・会場 飯塚市役所
- ・参加者 16名（対象求職者 8名、支援者 8名）
（会場 15名、オンライン 1名）

○飯塚市第2回合同会社説明会（求職者）（2022年10月21日）

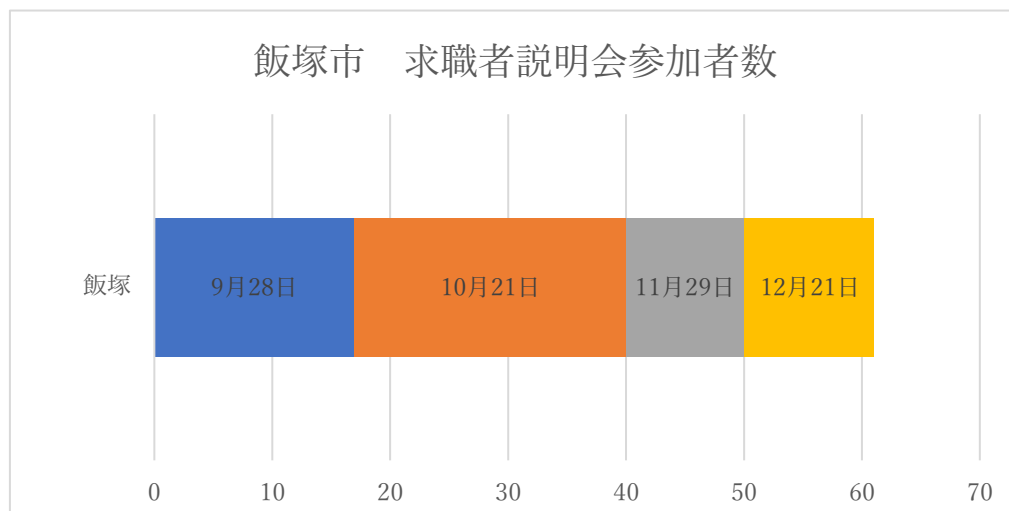
- ・会場 飯塚市役所
- ・参加者 23名（対象求職者 16名、支援者 7名）
（会場 23名、オンライン 0名）

○飯塚市第3回合同会社説明会（求職者）（2022年11月29日）

- ・会場 飯塚市役所
- ・参加者 9名（対象求職者 8名、支援者 1名）
（会場 9名、オンライン 0名）

○飯塚市第4回合同会社説明会（求職者）（2022年12月21日）

- ・会場 飯塚市役所
- ・参加者 9名（対象求職者 8名、支援者 1名）
（会場 8名、オンライン 1名）



(飯塚市求職者説明会の様子)



(イ) 個別開拓 (支援機関等 6 8 か所説明)

- ・飯塚市の就労支援機関意見交換会にてモデル事業の概要の説明を行った。
- ・飯塚市で「飯塚市、嘉麻市、桂川町障がい者基幹相談支援センター」が主催する定例会に参加しモデル事業の現在の進捗状況と概要の説明を行った。
- ・ハローワーク飯塚でのチラシ配架。
- ・各支援機関及び関係機関へ定期的に訪問を行い現在の進捗状況と説明を行った。
- ・求職者募集に対するチラシを作成し、関係機関に配付し説明を行うことで事業の周知を行った。

◆飯塚市の求職者募集チラシ (図 11)

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」

働きたいけど働けていない方、
今の状態から一歩踏み出したい方
週20時間未満で働いてみませんか？

令和4年度事業
飯塚市にお住まいの方が対象です！

◆お仕事をお探しの皆様

こんな悩み・困りごとは、ありませんか？

- ・長く働いていないため働けるか不安がある。
- ・いきなり長い時間働くことは不安がある。
- ・子育てや、在宅介護で働ける時間が短い。
- ・病気やけがの影響で、難しい作業がある。 など

就労までの流れ

問い合わせ	組合に事業内容・手続きを問い合わせる
登録・申込	面談を行い求職登録を行う
企業紹介	働きづらさの内容や働き方に合う企業を紹介
採用面接	企業に応募し、面接選考を受ける
就労決定	合格の場合は勤務条件などを確認する
サポート	就労後、定着のためのサポートを受ける

【主 催】福岡県就労支援協同組合
【受託会社】株式会社 ACR
【協 力】福岡県・飯塚市

より詳しい事業概要、求人情報などはHPをご覧ください。 飯塚市 週20時間未満就労 検索

本事業の対象となる対象者

家庭の事情や健康上の理由で「長時間働けない」「苦手な仕事がある」など
何らかの理由で働きづらさを感じている方

加えて、既存の支援機関で就労または生活などの支援を受けている方

◆長時間働けない方
身体状態が決まった要件により
労働条件に制限がある方など

◆苦手な仕事がある方
特性上、苦手な業務が含まれている場合
働き続ける事が難しくなる方など

Q & A

Q: どのようなサポートを受けることができますか？
A: 希望職種や条件、配属の希望などを伺い、就職活動についての相談、仕事紹介を受けることができます。コーディネーターなどが面接や職場見学に同行することも可能です。また、安定してお仕事を続けるために、就職後に生じたお悩みに対して本人と企業の間に立って、相談や助言などのサポートを行います。

Q: この事業を利用すると20時間以上は働くことができないのか？
A: 企業と求職者、両者了承の上で勤務時間や業務の幅を増やしていくことも可能です。なお、今回の事業で短時間での就労を行い、働く中で就労に対する自信をつけ経験を積むことで、働き方のステップアップができると考えています。

Q: 費用は掛かりますか？
A: この事業の相談・紹介に掛かる費用はいただきません。

企業情報 例

No 1 業務内容：食器洗浄、食器片づけ、配膳 勤務形態：パート 賃金：1,000円	No 2 業務内容：広報（SNS、HP）の更新 勤務形態：パート 賃金：1,000円
---	---

お問い合わせ先
福岡県就労支援協同組合 MAIL: contact@fesc.jp
週20時間事務局：小島・中島 電話：092-406-7697

(ウ) 個別支援（8名）

飯塚地域で本事業に係った方の属性は様々なものがあり、一人ひとりに合わせた個別の支援が必要であった。

短時間の就労である為、病院への定期的な通院や日常生活との両立が出来るとの声があった。

また、就労支援を行う中で、面接への同行、就労後の相談環境がとても安心でき心強いとの声があり、結果、本人の状況に合わせた就労が可能になった。

定着支援においても、企業と連携し入社後も支援を行うことで、継続して就労を行うことができおり、働き方や仕事の幅などを広げていくことが出来た。

詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状態	記号	年代	性別	紹介機関	事例掲載
飯塚市	求職登録済	D	男性	50代前半	飯塚市役所	○
	採用決定（マッチング）	H	女性	70代前半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
	求職登録済、未採用	A	男性	60代後半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		B	男性	70代前半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		E	男性	40代半ば	飯塚市生活自立支援相談室	○
		F	男性	60代後半	飯塚市生活自立支援相談室	○
		G	男性	50代前半	飯塚市生活自立支援相談室	○
		I	女性	70代半ば	飯塚市生活自立支援相談室	○
	支援求職者計		8名			

就労済：求職者D

地域：飯塚市 年齢：50代前半

性別：男性

働きづらさの内容：手足の痺れがあり、行える業務に制限がある。在宅にてご家族の介護を行っており、仕事へのブランクがある。

紹介機関：飯塚市役所

今回の事業に参加したきっかけ

福岡県が主催する正社員チャレンジプログラムに参加しており、仕事を探していたが、勤務可能な求人が少なく、また選考落選が続いていた。

チラシにより求職者説明会を知り参加

これまでの支援

打診企業：筑豊ラーメン山小屋 穂波店（採用決定）

相談支援：各種希望条件確認、過去の職務経歴確認

求職登録支援：求職票作成支援。履歴書確認、添削。推薦状作成

求人応募・面接支援：面接同行、面接同席。職場見学実施。食洗器の操作等、体験就労実施
面接日程調整。選考企業へ希望条件の通知

入社支援：内定に伴い、勤務日数の交渉。入社時に必要な備品支給を交渉

定着支援：電話による就業状況の確認。実際に働いてみての状況をヒアリングし
業務過負荷にならないよう、企業と調整。職場訪問を実施

支援のポイント

- ・手足の痺れがあり、行える業務に制限がある為、就労体験を行い業務内容が行えるか確認し企業と打ち合わせが行った。
- ・仕事の量を増やしていきたいとの本人のご意向があるが、仕事の内容によっては手足の痺れが増大することがあった為、定期的にヒアリングを行い業務が過負荷にならないよう確認を行った。

事業参加者の感想

入社後も定期的に困ったことを相談できることが嬉しい。
仕事の内容を調整しながら継続して働けている。

成果・課題

【成果】

<勤務内容>R5.1.10~R6.1.9 週3日 4時間/日、食器洗浄+補助業務

- ・身体的な不安がある求職者であったが、体験就労作業レベルを確認し就労を行うことで、身体的な不安を考慮しながら現在まで就労を継続できている。
- ・企業と困りごとを共有しながら業務を行い、仕事の幅も増えてきている。

【課題】

- ・定着支援に於いて、本人が意欲的に食器洗浄以外の業務に取り組んだ事で、過負荷となり、手足の痺れの症状が一時的に増大することがあった。企業と情報を共有し、作業手順の調整や作業環境の工夫を行うことで改善したが、今後も引き続き過負荷にならないか見極めを行う。

就労済：求職者H

地域：飯塚市

年齢：70代前半

性別：女性

働きづらさの内容：高齢による体力不安、病院通院

紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

既存の職業紹介機関を利用し、仕事を探していたが、高齢であり身体的な影響や、病院への通院など日常生活との両立が難しかった。市役所に別用で来た時に、偶然説明会のことを知り、相談ができればと思い参加した。

支援内容

打診企業：ラーメン山小屋 穂波店（採用決定）

求職登録支援：求職票作成支援、履歴書確認、添削。企業への提出。推薦状作成。面接日程調整。選考企業へ希望条件の通知

求人応募・面接支援：面接同行、面接同席、職場見学実施

入社支援：労働条件通知、入社日調整、入社時備品購入、入社待機期間中のフォロー

定着支援：電話による就業状況の確認。ヒアリング。

過負荷に伴う雇用主との調整

職場訪問実施、就業状況の確認、ヒアリング

支援のポイント

- ・飲食店での就労が初めてである為、就労前面談で次回の面談までは、仕事場の雰囲気や仕事に慣れることを目標として確認した。
- ・本人の仕事への向上心が高く、過度に仕事を請け負う傾向が見受けられたことから、仕事が身体的・精神的な負担になっていないか、職場訪問や定期的な聞き取りなどを随時行った。

事業利用者の感想

面接に同行してもらえることが心強く、定期的な聞き取りも行ってもらえるため、安心して働いている。

年齢的には高齢であることから、就職は難しいと諦めていたが、現在は週 20 時間未満で無理なく働いている。覚えることはたくさんあるが、自宅にいるよりも動いている方が好きなので、改めて働けて嬉しい。

成果・課題

【成果】

＜勤務内容＞R5. 1. 16～R6. 1. 15 週 5 日 4 時間／日、食器の片づけ＋補助業務

- ・ 現在まで継続した就労が行えている。仕事の時間も本人と企業に調整を行う中で増えてきており、就労開始時は週 4 日であったが現在は週 5 日での就労が行えている。
- ・ 仕事内容としても就労当初は食器の片づけのみであったが、現在ではその他の補助的業務も行えており、仕事の幅も広がってきている中で、ご本人も企業に貢献できているという満足感を持ちながら勤務を行えている。

【課題】

- ・ 本人の意向を受け、就労時間や業務の幅を増やしていく。
- ・ 仕事と生活の両立が無理なく出来ているかの見極め。

未就労：求職者 A

地域：飯塚市

年齢：60 代後半

性別：男性

働きづらさの内容：高齢・持病による身体的問題から、長時間同じ姿勢が難しい。

紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

高齢かつ腰痛を持っており、立ち仕事、かがむしごと、同じ姿勢の仕事が困難。また体力的な面から夜勤もNGで、中々求人が見つからなかったことから飯塚市求職者説明会へ参加。

支援内容

相談支援：各種希望条件確認、固有スキル（低圧配管技能）の確認
求人応募・面接支援：求人票に合わせた履歴書作成のポイント、職務経歴書の作成支援
1社の求人応募打診、面接同行、面接同席
入社支援：採用内定に基づく、労働条件通知書の取得と紹介会社からの開示、説明

現在の状況

- ・固有スキル（低圧配管技能）にこだわらず、別業種を提案
- ・就業に対して逼迫した状況では無かった為、求人を選ぶ傾向から応募に至っていなかったが、定期的に求人情報を提供したことで、本人の希望に沿うものを提案できた
- ・面接の結果、4月1日からの勤務で内定するも、労働条件開示後、本人、企業双方の希望が合わず本人より内定辞退
- ・今後改めて求人の打診を行っていく。

未就労：求職者B

地域：飯塚市 年齢：70代前半

性別：男性

働きづらさの内容：高齢・持病による身体的問題から、重量物を扱う業務や長時間同じ姿勢が難しい。

紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

生涯現役チャレンジセンターから説明会の情報を知った。

現在はフリーランスで個人事業主の経理処理を代行している。契約先が減ってきた事から、もう少し働きたい。

経理系の求人を探しているが該当するものが無いため、飯塚市求職者説明会へ参加

支援内容

相談支援：身体的に難しい動作や固有スキル（経理職、決算スキル）の確認

求人応募・面接支援：求職票作成支援

現在の状況

- ・経理スキルは非常に高いが、現在希望に合う求人がない状況である。
- ・経理職にこだわらず、デスクワークにまで拡大し、打診を続けていく。
- ・免許を返納しており、公共交通機関内での通勤となることも考慮し、打診していく。

未就労：求職者 E

地域：飯塚市 年齢：40代半ば
性別：男性
働きづらさの内容：親族の介護を行っており、仕事に空白ある。
紹介機関：飯塚市生活自立支援相談室

今回の事業に参加したきっかけ

飯塚市の生活自立支援相談室からモデル事業について知った。
離職期間が長く、自身が得意とする分野における求人を探していたが、見つからないことから、求職者説明会へ参加

支援内容

相談支援：各種希望条件確認、固有スキル（PC整備士、動画編集）があり。PCで行える仕事を希望
求職登録支援：希望条件や固有スキルをもとに求職登録を行った。
求人応募・面接支援：数社の求人応募打診。企業の求人内容が家族希望と相違あり、1社の企業に条件を交渉（勤務時間）し、書類選考までいったが落選した。
フィードバック支援：落選となった企業に関しては、落選理由を聴取し次回の活動に生かせるよう、本人へのフィードバックを行った。

現在の状況

・本人の事情を改めて確認し、PC作業以外の求人の検討も行っていく。

未就労：求職者 F

地域：飯塚市 年齢：60代後半

性別：男性

困りごとの内容：心筋梗塞の持病があり通院が必要（月1回）。加えて、家族の看病を行う必要があり通院付添が必要（不定期）。家庭の事情もあり、思うように就労ができていない。現在は生活保護を受給。

今回の事業に参加したきっかけ

飯塚市自立支援相談室からモデル事業の事を知り、家電分野の経験が豊富で対象となる求人を探すため事業へ参加

支援内容

相談支援：各種希望条件確認、過去の職務経歴確認

求職登録支援：個別の事情を聞き取り、求職票の作成

求人応募・面接支援：希望条件と近い企業を3社の求人応募打診。本人の仕事に対する不安があり辞退

現在の状況

- ・本人に仕事に対する不安があり、企業を打診しても辞退をされることから、まずは就労体験や見学から検討し、不安を軽減し多様な視点が持てるよう支援を行っている。

未就労：求職者 G

地域：飯塚市 年齢：50代前半
性別：男性
働きづらさの内容：家族の介護から就労にブランクがある。
紹介機関：飯塚市生活自立支援相談室

今回の事業に参加したきっかけ

飯塚市の自立支援相談室からモデル事業の事を知った。現在、生活保護を受給しており、就労に対してブランクがあることから、モデル事業に参加

支援内容

相談支援：各種希望条件確認、過去の職務経歴確認
求職登録支援：聞き取った内容から求職票を作成した。

現在の状況

- ・企業の説明を行ったが、本人の希望とは一致せず応募までには至っていない。
- ・本人が軽作業と倉庫内作業での仕事を希望しており、現在の求人内容に本人の希望を満たすものがない。引き続き、就労希望条件に変化がないか確認を行いながら、求人を打診していく。

未就労：求職者Ⅰ

地域：飯塚市 年齢：70代半ば

性別：女性

働きづらさの内容：体力に不安があり、過去の職場で人間関係による不安がある。

紹介機関：飯塚市生活自立支援相談室

今回の事業に参加したきっかけ

夜勤希望し希望条件とあう求人を探していたが該当する求人が少ない状態であった。
飯塚市自立支援相談室からモデル事業のことを知り、飯塚市求職者説明会へ参加

支援内容

相談支援：各種希望条件確認、過去の職務経歴確認
求職登録支援：聞き取りを行った内容から求職票を作成
求人募集・面接支援：職務経歴や希望条件から2社の求人応募打診

現在の状況

- ・2社打診を行ったが、応募には至っていない。
- ・過去の経験から、余り人と係わらない仕事を希望していることなどを考慮する必要がある。
- ・福祉施設で需要がある資格を保有しており、条件が合えば企業のニーズはあると考えられることから、引き続きご本人の就労希望条件の確認を行いながら、新たな求人を打診していく。

(2) 大牟田市

① 大牟田市の特徴

大正6年3月1日に大牟田町が市に移行し誕生
面積 81.45 km²で福岡県の最南端に位置
人口 111,281 名 (令和2年10月1日現在) ※
男性 51,262 名 女性 60,019 名 総世帯数 49,231 世帯

※大牟田市国勢調査より抜粋

② 令和4年度の取組結果

ア. 企業に対する取組

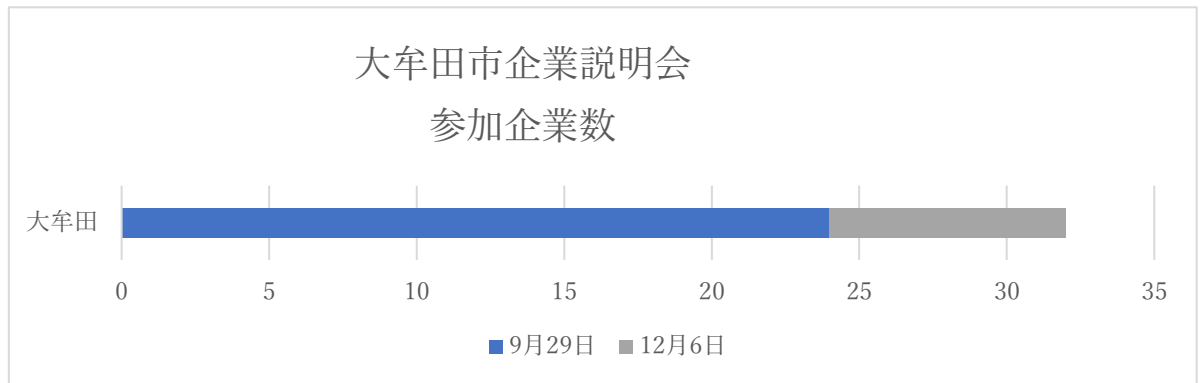
(ア) 説明会開催 (32社参加、うち求人登録3社)

○大牟田市第1回企業説明会(大牟田市) (2022年9月29日)

- ・会場 福岡県大牟田総合庁舎
- ・参加企業 24社 (会場 15名、オンライン 9名)

○大牟田市第2回企業説明会 (2022年12月6日)

- ・会場 大牟田市エコサルクセンター
- ・参加企業 8社 (会場 6名、オンライン 2名)



(大牟田企業説明会の様子)



(イ) 個別開拓 (4社訪問、うち2社求人登録)

- ・説明会開催のチラシとモデル事業参加のためのチラシを作成し、反応があった企業に対して直接、訪問し事業説明、業務の切り出し支援を行った。
- ・大牟田商工会議所が発行する商工会議所ニュースに掲載
- ・大牟田市内にて大牟田柳川信用金庫の市内店舗チラシ配布を実施
- ・大牟田地域企業合同面談会でのチラシ配架
- ・ハローワーク大牟田でのチラシの配架

◆大牟田市での企業募集のチラシ1 (図12)

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」

『週20時間未満の雇用』で、課題解決に取り組んでみませんか？

大牟田市に本社・営業支店がある企業が対象

◆企業経営者様・人事ご担当者様

こんな悩み・困りごとは、ありませんか？

- ・採用活動でなかなか人が集まらない
- ・残業の増大化、育児、介護離職などによる人手不足
- ・新しいアイデアなどを知りたいが、余力がなくて取り組めない
- ・日常清掃、やりたいと思う時間が取れず出来ない案件がある など

雇用までの流れ

業務内容の検討 → 悩み、困りごとを解決するための短時間業務の切り出し・創出
求人情報の作成

登録・申込 → 職業紹介の流れに沿って求人への申込

人材紹介 → 貴社の応募要件に合う求職者を紹介
業務内容の検討から雇用者のフォローまで、担当のコーディネーターが支援します！

採用面接 → 貴社にて面接選考 ※公正選考をお願いします

雇用開始 → 雇用開始までに雇用条件明示書を準備

フォロー → 就労後、被雇用者が定着するようフォロー

【主 催】福岡県就労支援協同組合
【委託会社】株式会社ACR
【協 力】福岡県・大牟田市

より詳しい事業概要、求人情報などはHPをご覧ください。 [大牟田市 週20時間未満就労 検索](#)

本事業の対象となる雇用対象者

家庭の事情や健康上の理由で『長時間働けない』『苦手な仕事がある』など何らかの理由で働きづらさを抱えている方

加えて、既存の支援機関で就労または生活などの支援を受けている方

◆長時間働けない方
身体状態や決まった要件により労働条件に制限があるなど
例えば
・病気やケガの影響で、疲れやすい人
・定期的に病院が必要なお人
・在宅介護中の方
・子育て中の方

◆苦手な仕事がある方
特性上、苦手な業務が含まれている場合働き続ける事が難しくなるなど
例えば
・面接会話するのが苦手なお人
・メールやPCでのやり取りは可能
・特定の作業が難しい人

Q & A

Q: この事業による企業へのメリットは？
A: 人材不足の解消、専門的業務を行う社員でなくてもできる仕事を週20時間未満の短時間で任せることで、働き方の改善・業務の効率化が図れます。また、多様な個性が集まりそれぞれの強みを発揮することで、様々な課題に対応できる強い組織を作ることが出来ます。

Q: 費用は掛かりますか？
A: この事業の相談・紹介に掛かる費用はいたしません。但し、雇用契約による雇用となります。

求職者情報 例

No1 (男性 非公開)
希望職種: 配送・送迎、医療福祉関係
主要経歴: 医療関係にて10年以上の経歴あり
希望収入: 920円/時以上

No2 (女性 20代)
希望職種: 事務職、その他
主要経歴: 事務職、接客経験あり
希望収入: 900円/時以上

お問い合わせ先
福岡県就労支援協同組合 MAIL: contact@fesc.jp
担当: 小島 小山 電話: 092-406-5126

◆大牟田市での企業募集のチラシ2 (図13)

福岡県就労支援協同組合
理事長 中村 信二

週20時間未満就労モデル事業につきまして(お願い)

当組合では公益財団法人日本財団及び、福岡県からの助成を受け、『障がい・難病・家族の介護・高齢者などの様々な事情により、フルタイムで働くことは難しいが、週20時間未満の短時間であれば働くことができる方』を対象に、短時間就労の有効性を検証、検証をおこなうモデル事業をしております。

つきましては、本事業の詳細、短時間雇用のメリット、雇用までの流れ、支援内容など、個別に説明を行っておりますので、御社の方でご検討頂けますようよろしくお願い致します。

ご多用中まことに恐れ入りますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【支援体制図】

短時間就労(週20時間未満)モデル 支援体制

福岡県就労支援協同組合(支援体制) → 企業(支援体制) → 求職者(支援体制)

福岡県就労支援協同組合(支援体制) → 企業(支援体制) → 求職者(支援体制)

福岡県就労支援協同組合(支援体制) → 企業(支援体制) → 求職者(支援体制)

◆当組合の地区担当コーディネーターが、働きづらさを抱える方々と人手不足などに悩む企業の間に入り、職業紹介事業を行っている株式会社ACRや福岡県・大牟田市など各種機関と連携しながら支援を行う体制になっています。

週20時間モデル事業の作業分担 (求職者 切り出し業務 例)

仕事の切り出しによって短時間で業務の作業設定を行い「補助作業」や「既存スタッフでは手の届きにくい作業」を行うことで、人手不足解消や企業価値向上に繋がっていく。

上記のように

週20時間モデル事業の雇用参考事例として
例:1日3時間を週3日 1日2時間を週4日などが検討できるかと思います

◆雇用までの業務内容の検討から雇用者のフォローまで担当のコーディネーターが支援を行います！

本事業のホームページも作成しております
詳しくはこちら ⇒ [大牟田市 週20時間未満就労 検索](#)

- 本モデルの実施地域として飯塚市に本社、営業支店がある企業のみ対象となります。
- 事業へのご参加により、必ず雇用しないといけないわけではありません。
- 支援にかかる費用は無料となっております。

お問い合わせ先
福岡県就労支援協同組合
担当: 小島 中島
TEL: 092-406-5126 FAX: 092-401-1121
メール: contact@fesc.jp

(ウ) 個別支援（5社）

大牟田市においても、多くの企業が人手不足に悩みを抱えている状況であった。現在、短時間就労を取り入れている企業は少なく、短時間での求人を募集するとの考え方を、検討したことがない企業も多く、週20時間未満就労について説明を行う中で、多様な条件での求人を切り出すことが出来た。

詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状態	企業名	業種	事例掲載
大牟田市	求人登録済 雇用決定	(株) 百年プロジェクト	菓子製造販売、マー ケティング他	○
	求人登録済 未雇用	オギハラ食品 (株)	食品製造	○
		麻生介護サービス (株)	介護・福祉	○
		(株) メフォス	請負サービス (給食 製造)	○
		労働者協同組合ワーカーズコープありあけ	清掃等建物管理	○
支援企業計		5社		

雇用決定：(株) 百年プロジェクト

所在地：大牟田市

業種：飲食業

従業員：5名

事業内容：カフェ運営・菓子製造販売・web コンサル
・マーケティング支援・コワーキングスペース

設立年：2015年



今回の事業に参加したきっかけ

新工場開設に伴い、スタッフの人手不足に困っていたことから、9月29日の大牟田市企業説明会を知り参加した。

支援内容

業務切り出し支援：全体的な業務を確認し、製造に於ける流れの中で4職種を切り出し。

- ①入荷する材料の荷受け ②製造における下準備
- ③完成した製品の梱包 ④出荷業務

求人情報作成支援：求人票の作成。仕事カタログの作成

求人情報提供支援：②の業務を求職者3名に応募打診、企業から、事前に切り出した業務以外での採用意向もあると確認していたことから、デザイン領域の売り込み型提案を2名打診

採用支援：面接の日程調整及び同席

採用時のイメージが持てるように就労体験の場を手配

定着支援：雇用決定した1名について、雇用開始前に求職者と企業の間で立ち、働き方の内容を確認・共有することで両者の不安を軽減した。

<採用者①>R5.3.2~R5.3.8 5日間 4~5時間/1日 ケーキ製造補助、PC業務

<採用者②>R5.4.1~R5.6.30 週5日間 3時間/1日 容器洗浄、資材の補充

支援のポイント

- ・すぐに雇いたい企業サイドの事情と無理せず働きたい求職者サイドの事情を慎重にすり合わせた。
- ・成長中の企業で、一人当たりの仕事の量が多いことから、働く側に負荷がかからないか、就労体験にて判断を行った。

未雇用：オギハラ食品（株）

所在地：大牟田市

業種：食品製造

従業員：74名

事業内容：高菜漬けの製造、業務用 OEM 製品の加工製造

設立年：1987年

今回の事業に参加したきっかけ

食品の製造中はスタッフの確認が必要な為、現在、スタッフが交代で休憩をとっている状況である。

正規スタッフと入れ替わりで短時間でも働ける方を雇うことで、業務を円滑に行えるのではないかと考えていたところ、週20時間未満就労モデルのことを知り、説明会に参加した。

支援内容

業務切り出し支援：全般的な業務や求人票に記載する仕事内容を詳しく聞き取り、①食品加工、②軽作業業務を切り出した。

求人情報作成支援：求職者が仕事のイメージを掴みやすいように、業務の詳細を具体的に（運ぶ荷物の重さ、移動距離等）記載した求人票の作成を支援した。

求人情報提供支援：求職者4名に応募打診

採用支援：面接を希望する求職者1名に企業との日程調整を行った。

現在の状況

・希望者が現れ、書類提出、面接調整段階まで進捗を進める事が出来たが、希望者に連絡がつかず面接が取り消しとなった為、採用に繋がらなかった。

・新たな求職者とのマッチングを行う為に、必要に応じて求人票の変更や新たな求人の作成を支援していく。

未雇用：麻生介護サービス（株）

所在地：大牟田市（本社：福岡市）
業種：介護・福祉
従業員：1,200名
事業内容：小児から高齢者まで幅広いお客様に、医療・介護サービスの提供
設立年：2007年



今回の事業に参加したきっかけ

事業を実施している職業紹介事業者からのダイレクトメッセージでモデル事業の事を知り、企業説明会へ参加
慢性的な有資格者の人手不足に悩んでおり、事業の運営を円滑に行う為に事業へ参加した。

支援内容

業務切り出し支援：業務内容について具体的に聞き取る中で、モデル事業に合う業務として、①介護、②訪問介護の業務を切り出した。
求人情報作成支援：切り出した業務から勤務体系などを確認し求人票を作成した。
求人情報提供支援：企業に代わり業務内容の説明を行い、求職者3名へ応募打診

現在の状況

- ・求職者3名に打診を行ったが、応募までには至っていない状況である。
- ・求人業務は、成果報酬型の勤務形態であり働き方が自由である半面、収入については固定ではない。ミスマッチを防ぐため、この事を十分に伝え、求職者に打診していく。

未雇用：（株）メフォス

所在地：大牟田市（本社：久留米市）

業種：給食受託業

従業員：18,000名

事業内容：集団給食サービス

設立年：1962年

今回の事業に参加したきっかけ

求人募集を行っているが、希望者が現れず人手不足に困っていた。9月29日の企業説明会を知り説明会に参加

支援内容

業務切り出し支援：聞き取りを実施し課題の抽出、業務の明確化を行うことで食器洗浄の業務を切り出した。

求人情報作成支援：業務内容や勤務期間を確認し求人票を作成した。

求人情報提供支援：業務の都合上、学校の休みと連動した勤務となっている為、求職者へ説明を行う際には勤務内容や休みについて詳しく説明し登録者2名に応募打診。1名応募の検討を行うが、書類作成段階で辞退

現在の状況

- ・求職者へ打診を行う中で立ち仕事を危惧されるケースや、調理器具の重さを懸念される為、業務のイメージが掴めるよう具体的で詳細な求人内容の聴き取りや見学なども行い、求人情報提供支援を行っていく。

未雇用：労働者協同組合ワーカーズコープありあけ

所在地：大牟田市

業種：建物等清掃管理他

従業員：10名

事業内容：建物等清掃管理

設立年：2022年

今回の事業に参加したきっかけ

福岡県から個別に広報がありモデル事業について認知した。
人手不足で困っていることから事業へ参加した。

支援の内容

- 業務切り出し支援：企業へ直接訪問し、業務内容の確認や通勤手段、労働者協同組合に参加する為の出資金についての確認を行い、公共施設の清掃を切り出した。
- 求人情報作成支援：聞き取った内容から求人票と就労のイメージが掴みやすいよう、仕事カタログの作成を行った。
- 求人情報提供支援：組合員が出資・経営・労働の全てに携わる協同労働という特徴的な働き方について説明を行い、求職者3名に応募打診

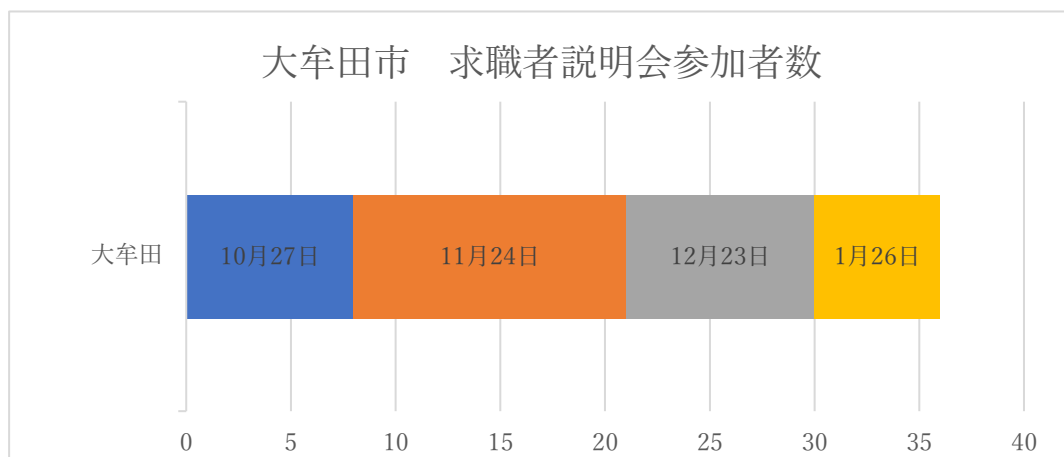
現在の状況

- ・3名に打診を行うも、面接までには至っていない状況である。
- ・組合員となるためには出資金が必要であり、求職者が応募を躊躇する要因となっている可能性がある為、返金制度がある事を求人票へ明記し求人情報提供支援を行っていく。

イ. 求職者に対する取組

(ア) 説明会開催（30名参加、うち14名求職登録）

- 大牟田市第1回合同会社説明会（求職者）（2022年10月27日）
 - ・会場 福岡県大牟田総合庁舎
 - ・参加者 8名（対象求職者 5名、支援者3名）
（会場 8名、オンライン 0名）
- 大牟田市第2回合同会社説明会（求職者）（2022年11月24日）
 - ・会場 福岡県大牟田総合庁舎
 - ・参加者 13名（対象求職者 10名、支援者3名）
（会場 13名、オンライン 0名）
- 大牟田市第3回合同会社説明会（求職者）（2022年12月23日）
 - ・会場 大牟田文化会館
 - ・参加者 12名（対象求職者 9名、支援者3名）
（会場 7名、オンライン 1名）
- 大牟田市第4回合同会社説明会（求職者）（2023年1月26日）
 - ・会場 大牟田文化会館
 - ・参加者 6名（対象求職者 5名、支援者1名）
（会場 6名、オンライン 0名）



(大牟田市求職者説明会の様子)



(イ) 個別開拓 (支援機関等 48 か所説明)

- ・説明会開催のチラシとモデル事業参加のためのチラシを作成し、反応があった求職者に対して電話やオンラインで事業説明、企業とのマッチング支援を行った。
- ・「大牟田地域就労支援ネットワークセミナー」へ参加し、事業の説明を行った。
- ・大牟田地域企業合同面談会でのチラシ配架
- ・ハローワーク大牟田でのチラシの配架
- ・各種支援機関に定期的に訪問を行った。
- ・大牟田市市民活動等多目的交流施設えるるでのチラシ配布

◆大牟田市の求職者募集チラシ (図 14)

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」 THE NIPPON FOUNDATION

**働きたいけど働けていない方、
今の状態から一步踏み出したい方
週20時間未満で働いてみませんか？**

**令和4年度事業
大牟田市にお住まいの方が対象です！**

◆お仕事をお探しの皆様

こんな悩み・困りごとは、ありませんか？

- ・長く働いていないため働けるか不安がある。
- ・いきなり長い時間働くことには不安がある。
- ・子育て中、在宅介護で働ける時間が短い。
- ・病気やけがの影響で、難しい作業がある。 など

就労までの流れ

問い合わせ → 組合に事業内容・手続きを問い合わせる

登録・申込 → 面談を行い求職登録を行う

企業紹介 → 働きづらさの内容や働き方に合う企業を紹介

採用面談 → 企業に応募し、面接選考を受ける

就労決定 → 合格の場合は勤務条件などを確認する

サポート → 就労後、定着のためのサポートを受ける

仕事内容の検討から就労後のフォローまで、担当のコーディネーターがサポートします！

【主催】福岡県就労支援協同組合
【受託会社】株式会社A C R
【協力】福岡県・大牟田市

※令和4年度事業

より詳しい事業概要、求人情報などはHPをご覧ください。 大牟田市 週2(時間未満)就労 検索

本事業の対象となる対象者

家庭の事情や健康上の理由で『長時間働けない』『苦手な仕事がある』など何らかの理由で働きづらさを感じている方

加えて、既存の支援機関で就労または生活などの支援を受けている方

◆長時間働けない方
身体状態や決まった要件により労働条件に制限がある方など

◆苦手な仕事がある方
特性上、苦手な業務が含まれている場合働き続ける事が難しくなる方など

Q & A

Q: どのようなサポートを受けることができますか？
A: 希望職種や条件、収入の希望などを伺い、就職活動についての相談、仕事紹介を受けることができます。コーディネーターなどが面接や職場見学に同行することも可能です。また、安定してお仕事を続けるために、就職後に生じたお悩みに対して本人と企業の間によって、相談や助言などのサポートを行います。

Q: この事業を利用すると20時間以上は働くことができますか？
A: 企業と求職者、両者了承の上で勤務時間や業務の幅を増やしていくことも可能です。なお、今回の事業で短時間での就労を行い、働く中で就労に対する自信をつけ経験を積むことで、働き方のステップアップができると考えています。

Q: 費用は掛かりますか？
A: この事業の相談・紹介に掛かる費用はいたしません。

企業情報 例

No.1 業務内容：学校給食調理補助 勤務形態：パート 賃金：920円	No.2 業務内容：食品製造4職種 勤務形態：パート 賃金：900円
--	---

お問い合わせ先

福岡県就労支援協同組合 MAIL: contact@fesc.jp
担当：小島・小山 電話：092-406-7697

(ウ) 個別支援（16名）

大牟田地域においても本事業に係った方の属性は様々なものがあり、一人ひとりに合わせた個別の支援が必要であった。

大牟田地域では、面談を行う中で求職者に対して、職場見学・就労体験（3～7日）を実施した。就労体験では初めての作業で不安があったが、仕事の内容も理解でき就労に対して自信を持つことが出来たなどの反響が見られた。

また、周辺地域からの説明会に参加してみたいなどの声も聞かれることもあり、通勤手段や働く場所の検討が必要であった。

詳しい支援内容に関しては以下の通り。

地域名	状態	記号	年代	性別	紹介機関	事例掲載
大牟田市	求職登録済 採用決定（マッチング）	H	女性	60代前半	障がい者施設（就労継続支援A型）	○
		R	女性	20代半ば	筑後若者サポートステーション	○
	求職登録済、未採用	G	女性	60代後半	障がい者施設（就労継続支援A型）	○
		J	男性	60代後半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		L	男性	50代前半	精神科病院	○
		M	男性	70代前半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		N	女性	70代前半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		O	男性	70代前半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		P	男性	60代前半	福岡県生涯現役チャレンジセンター	○
		S	男性	20代半ば	筑後若者サポートステーション	○
	求職登録済 利用中断（自己開拓採用決定、別支援利用決定）	C	男性	40代前半	不明	
		D	女性	20代前半	ハローワーク大牟田	
		E	女性	10代後半	筑後若者サポートステーション	
		I	女性	20代後半	障がい者施設（就労継続支援A型）	
		K	女性	30代後半	障がい者施設（相談支援）	
		Q	男性	50代前半	障がい者就業・生活支援センター	
支援求職者計		16名				

就労済：求職者H

地域：大牟田市

年齢：60代半ば

性別：女性

働きづらさの内容：身体的な不安や、持病による不安がある。

紹介機関：障がい者施設（就労継続支援A型）

今回の事業に参加したきっかけ

現在の就労移行支援事業所を定年で退職をする事、また統合失調症を発症している事、高齢である事、体力が無い事から、自分に適した仕事がなかなか見つからないため、事業へ参加した。

支援内容

打診企業：百年プロジェクト（採用決定）、他1企業

相談支援：各種希望条件確認、過去の職務経歴確認

求職登録支援：聞き取った内容から求職票を作成

求人応募・面接支援：面接同行、面接同席実施

入社支援：就労体験の実施

定着支援：定期的なヒアリングや職場訪問を実施

支援のポイント

- ・ どのような作業が可能か、具体的なヒアリングを行った。
- ・ 本人が体力、筋力に不安がある事から就労体験を前提とした応募が出来る企業を打診した。

事業利用者の感想

日頃は、週5日4時間程度、障がい者施設で働いているが、ほとんどの作業がテーブルワークで慣れた作業だった。今回の就労体験では、少人数で立ちっぱなしの状態、初めてする作業だったので不安があったが、仕事の内容も理解でき、負担に思うことなくできた。職場の雰囲気も良く、他の従業員さんも優しく声掛けをしてもらったので、思った以上に時間が経つのが早く感じて、とても楽しく仕事ができる。

成果・課題

【成果】

<勤務内容>R5.4.1~R5.6.30（延長有） 週5日 3時間/日

容器洗浄、資材の補充、細かい材料を容器に補充

- ・当事業において就労体験を本格的に行う初めての事例となった。
- ・支援機関から有給休暇の取得等の配慮を受け、1週間実施
- ・当初は高齢である事を企業側が不安視していたが、現在通所している支援事業所の教育が非常に行き届いており、戦力になるとの判断から採用となった。

【課題】

- ・本人が収入増を求めており、直接雇い主へ勤務時間を増やすよう直訴し、本人の就労可能な体力を超えた労働を自身に課す可能性があるため、今まで通所しており、本人のことを良く知る障がい者施設との連携、雇用主と求職者双方への定期的な聴き取り、要望調整、フォローによる定着支援

就労済：求職者 R

地域：大牟田市

年齢：20代半ば

性別：女性

働きづらさの内容：仕事へのブランクがある。コミュニケーションが苦手。

紹介機関：筑後若者サポートステーション

今回の事業に参加したきっかけ

仕事へのブランクがあり、仕事を探していたところ筑後若者サポートステーションから事業を知り、求人に興味を持ち説明会へ参加

支援内容

打診企業：百年プロジェクト（株）（採用決定、雇用期間終了（短期間））
相談支援：個別相談の際には働きづらさが不明瞭であったが、支援機関と連携しながら希望を確認した。
求職登録支援：聞き取りを行いながら求職票作成した。
求人応募・面接支援：履歴書確認、添削。推薦証作成。面接日程調整。選考企業へ希望条件の通知。面接同行、面接同席、職場見学実施
入社支援：雇用契約に基づく就労体験（5日間）
定着支援：電話、訪問による就業状況の確認。ヒアリング

支援のポイント

- ・個別相談を行う中では、明確な働きづらさの内容の申告はなかった為、支援機関と連携し選考を行う中で、希望の条件や支援内容の確認を行った。
- ・聞き取りや就労体験の様子から、コミュニケーションが苦手な印象があり、定期的に困りごとやわからない作業がないか、確認を随時行った。

事業利用者の感想

とてもいい方が多く、無理なく働くことができた。
様々な部署の体験就業を行わせて頂けたため、自分がどの様な仕事に興味があるのか知ることが出来た。

成果・課題

【成果】

<勤務内容>R5.3.2~R6.3.8 5日 4~5時間/日

ケーキ製造補助、PCを使った各種業務

- ・短期間の就労だが、企業と打ち合わせを行いながら就労することが出来た。就労体験を行ったことから、興味がある分野などの活動を通して確認することが出来た。

【課題】

- ・就労体験を行った経験を活かし、新たな求人の打診を行っていく。

未就労：求職者 G

地域：大牟田市 年齢：60代半ば

性別：女性

働きづらさの内容：長距離の出勤は難しい。

身体的な不安があり腰への負担が少ない仕事を希望

紹介機関：障がい者施設（就労継続支援 A 型）

今回の事業に参加したきっかけ

大牟田市内で働いていたが、雇用が終了することがわかり、次の仕事を探していた。腰への負担が軽い仕事、自宅からなるべく近い職場を希望しており、中々希望に合う求人が見つからないため、大牟田市求職者説明会へ参加

支援内容

相談支援：個別面談を2回実施し就労希望条件の整理、過去の職務経歴確認と今後の就職活動に対する助言を行った。

求人応募・面接支援：求職票作成支援

現在の状況

- ・本人より素早くこなしていく仕事には苦手意識があり、ゆっくりと仕事がしたいとの希望もある為、業務内容などを詳しく説明し本人の希望とあう求人を打診していく。
- ・就労意欲はあり、企業側の希望と本人の希望が合致すれば採用となる可能性がある為、引き続き現在の状況などを聴取しながら、新たな求人の開拓を行っていく。

未採用：求職者 J

地域：大牟田市 年齢：60代後半
性別：男性
働きづらさの内容：指先の動作が不得手で、身体的な制限がある。
紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

細かな作業に不安があり、身体的な制限があっても考慮される仕事を探していた。
生涯現役チャレンジセンターからモデル事業の事を知り説明会に参加した。

支援内容

相談支援：各種希望条件確認、過去の職務経歴確認
求職登録支援：個別面談で聞き取りを行い求職票の作成を行った。
求人応募・面接支援：2社の求人応募打診。履歴書作成支援、面接日程調整

現在の状況

- ・企業の打診を行う中で応募することが決まり日程調整を行っていたが、求職者の携帯が不通となり、連絡が取れない様になったため、企業より面接取り消しの連絡あり面接まで至らなかった。
- ・過去にも同様に連絡が取れなくなったことがあり、対策が必要であると考えられることから、地域の支援機関との連携も検討し、支援を行っていく。

未就労：求職者 L

地域：大牟田市 年齢：50代前半

性別：男性

働きづらさの内容：精神疾患とてんかんの持病があり継続的な服薬を行っている。

紹介機関：精神科病院

今回の事業に参加したきっかけ

障がい为前提として仕事を探している中で、担当している精神保健福祉士より事業のことを知り、説明会へ参加

支援内容

相談支援：個別面談を行い、希望条件、過去の職務経歴確認を行った。

求職登録支援：聞き取った内容から求職票を作成

現在の状況

- ・複雑では無い仕事が望まれるが、現時点で条件があう求人が無い為、求人企業への条件交渉や新たな企業の開拓を行っていく。
- ・精神薬の服用、てんかん薬の服用中であることから運転が発生するものは避ける。

未就労：求職者M

地域：大牟田市 年齢：70代前半

性別：男性

働きづらさの内容：年齢に条件があることが多く、採用されにくい。

紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

高齢者でも採用をしてくれる求人を探しており、生涯現役チャレンジセンターから事業のを知り、説明会へ参加

支援内容

相談支援：個別面談を行い、希望条件や個別のスキルを確認

求職登録支援：聞き取った内容から求職票作成支援

求人応募・面接支援：2社の求人応募打診

現在の状況

- ・複数企業の打診を行うが本人の希望と一致せず、応募までには至っていない。
- ・現状を確認し、仕事の条件に関してすり合わせを行いながら新たな求人を打診していく。

未就労：求職者N

地域：大牟田市 年齢：70代前半
性別：女性
働きづらさの内容：身体的に不安がある。
紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

大牟田市内で働いていたが、雇用が終了することがわかり、次の仕事を探していた。高齢者で体力がない人間でも雇ってくれる求人を探しており、生涯現役チャレンジセンターからモデル事業のことを知り、説明会へ参加

支援内容

相談支援：個別相談を2回実施し希望条件や過去の職歴などを聞き取り今後の就職活動に対する助言を行った。
求職登録支援：聞き取った内容から求職票を作成した。
求人応募・面接支援：2社の求人応募打診

現在の状況

- ・企業を打診するも本人の希望と一致せず辞退
- ・聞き取りを行う中で今後の就職活動について助言を行いながら、希望とする仕事のすり合わせを行っていく。

未就労：求職者○

地域：大牟田市 年齢：70代前半
性別：男性
働きづらさの内容：身体的な不安があり重量物を扱う業務は難しい。
人間関係に不安がある。
紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

身体的な不安や人間関係に不安があり、条件を考慮した仕事を探していた。生涯現役チャレンジセンターから事業のことを知り、説明会へ参加した。

支援内容

相談支援：個別面談を行い希望条件や過去の経歴を聞き取った。
求職登録支援：聞き取った内容から求人票の作成を行った。
求人応募・面接支援：1社の求人応募打診。応募に際しての履歴書添削を行った。

現在の状況

- ・応募を希望した企業については、応募前に本人より辞退の連絡が入った為、応募には至らなかった。
- ・面談を実施する中で、働きづらさを軽減するため他の支援機関との連携の必要性が考えられたことから、就労前に障がい者施設で就労支援（訓練等）を受けることができる就労困難者訓練支援モデル事業の利用を提案したが利用には至らなかった。
- ・今後、希望就労条件の変更がないか、確認しながら求人情報の打診を行っていく。

未就労：求職者P

地域：大牟田市 年齢：60代前半
性別：男性
働きづらさの内容：家族の介護が考えられる為短時間での製造関係を希望
紹介機関：福岡県生涯現役チャレンジセンター

今回の事業に参加したきっかけ

家族の介護を見越した短時間勤務の製造関連求人を探していた。過去の経験が特殊で、一般的な短時間勤務求人では適したものが見つからない為、生涯現役チャレンジセンターから事業のことを知り、説明会へ参加。

支援内容

相談支援：個別面談を行い希望条件確認、過去の職務経歴確認。
求職登録支援：聞き取った内容から求職票を作成。

現在の状況

- ・個別面談で聞き取りを行い、条件をすり合わせたところ、本人の希望する業種が特殊なものである為、地場のエージェントを案内した。

未就労：求職者 S

地域：大牟田市 年齢：20代半ば
性別：男性
働きづらさの内容：適応障害があり、自分に合った求人を探している
紹介機関：筑後若者サポートステーション

今回の事業に参加したきっかけ

前職でパワハラを受けた事から適応障害となり、もくもくと自分のペースで働ける仕事、軽作業、製造ライン等の求人を探すために、大牟田市求職者説明会へ参加

支援内容

相談支援：個別面談を行い、希望条件や過去の経歴を確認
求職登録支援：聞き取った内容から求職票を作成した。
求人応募・面接支援：条件に合う1社の求人の応募打診

現在の状況

- ・個別面談を行う中で本人の希望と合う求人を打診したが応募までには至らなかった。
- ・就職に向けて一歩踏み出せていないことから、引き続き就労希望条件の聞き取りを行うとともに企業の雰囲気や働き方を伝え応募に踏み出せるよう支援を行っている。

3. 令和4年度の成果、課題、今後の対応策

(1) 成果とその要因

① 企業の週20時間未満の雇用へのニーズが明確になった。

(要因)・モデル地域の市、企業団体等を通じての周知及び個別開拓による説明により、企業求人を42件(飯塚市32件、大牟田市10件)切り出すことが出来たため。

・業務の切り出しにあたっては、企業にヒアリングを行い、困りごとの内容や課題を踏まえた提案を行うことで、短時間の求人の必要性を認識してもらうことが出来たため。

② 働きづらさを抱える人の週20時間未満の就労へのニーズが明確になった。

(要因)・就労等支援機関に対して、既存の支援制度では支援が行き届かなかった方の新たな選択肢として週20時間未満の働き方を周知したことで、求職者の紹介があったこと、また、求職者向け説明会を行った結果、求職者を24名短時間の求職登録に繋げることが出来たため。

・実際に求職登録を行った方への聞き取りの中で、高齢などによる身体的な不安や病院通院等による就労可能時間の制限から、短時間で働きたいと考える人がいることが分かったため。

③ 求職者向け説明会を行ったことで、一部の働きづらさを抱える人の就労意欲を高めることが出来た。

(要因)・説明会において、週20時間未満での働き方を「働きたいけど働けていない人、働けなかった方、今の状態から一歩踏み出したい方」のきっかけづくりであること、採用前後の支援を行うことを伝え、説明会後半からは、具体的な就労事例を説明したことで、説明会アンケート結果で参加者の67%から働きたい気持ちが「とても高まった」「少し高まった」との回答が得られたため。

④ 4件の週20時間未満就労(雇用)を創出した。

(要因)・企業に対しては、求人業務が実施出来る求職者の紹介、求職者には書類作成や面接同行などの応募支援、採用前後の調整を職業紹介業者が間に入って行うことで、効率的にマッチング出来たため。

- ⑤ 就労開始後に、就労者に勤務形態や職場環境を調整するなどの定着支援を行うことで、継続した就労が行えることが判明した。

(要因)・就労開始後、就労者が回りに合わせようと無理をしてしまい、体調不良となる事案が生じたが、就労前から、就労者の状態を把握している当協同組合が選定したコーディネーターが、定期的なヒアリング、職場訪問などを行うことで気づき、企業と就労者の間に入って対処することが出来たため。

- ⑥ 大牟田市・飯塚市の地域で働きづらさを抱えている人に対する支援の情報を届けやすい環境づくりが出来た。

(要因) 今年度、事業を推進する中で、定期的に事業の情報を提供し、本事業に紹介があった求職者について情報交換することで、一部の支援機関と顔の見える関係づくりができたため。

(2) 課題とその要因

〈事業利用者及び企業の確保〉

(要因)・今年度は就労者 60 名の目標数に達することが出来ず、事業の目的である「様々な働きづらさを抱える人への週 20 時間未満就労の有効性の実証・確認」を行うための事例が不足しているため。

・幅広く周知を行ったが、まだ、当事者を支援する担当者まで週 20 時間未満の働き方の周知が行き届いていない状態であるため。

・事業利用者及び企業を確保するために開催した説明会において、具体的な就労(雇用)事例が示せず、事業メリットを十分に伝えきれなかったため。

〈求人企業と求職者間のニーズのずれへの対応〉

(要因)・通常業務を短時間行う求人業務が多く、精神や体力に不安を抱える者は従事出来ない事例があるため。

・求職者の就労希望条件が高すぎるため

〈多様な働き方の開拓〉

(要因)・通勤を前提とした求人が多いが、求職者の困りごとを聞き取る中で、身体的や精神的な理由から自家用車や公共交通機関を利用しての通勤が難しいとの意見が聞かれるため。

(3) 今後の対策

〈事業利用者及び企業の確保〉

求職者に対しては、定期的に当協同組合と当協同組合が選任するコーディネーターが、支援機関等を定期的に訪問し、情報共有と周知を行うとともに、新たに支援者向けの説明会を実施していくことで、事業への理解を深め、事業利用者の確保に努める。

企業に対しては、地元の団体等と連携を密に行いながら企業開拓を行うとともに、今年度の雇用実績をもとに具体的な雇用イメージを提示することで、事業利用企業の確保に努める。

〈求人企業と求職者間のニーズのずれへの対応〉

企業に対しては、困りごとの解消のために、地域の多様な人材資源を利用した働き方が創出できるようコーディネートを行っていく。

求職者に対しては、就職を行う前に、職場見学や就労体験を行い実際に働くイメージを共有することで不安の軽減を図る。

個別面談で客観的評価と自己評価に乖離があることが分かった場合は、適切な自己評価が行えるよう、キャリアコンサルティング、本人の能力にあった求人への打診を行っていく。

〈多様な働き方の開拓〉

通勤の負担を軽減するために、テレワークなどの働き方を開拓する。

今後は、得た成果・課題をもとに、上記の対策を取りながら、短時間就労の有効性を確認実行することを目標に事業の周知を強化・徹底することで、家庭の事情や健康上の理由で長い時間働けない方、何らかの理由で働きづらさを抱えている方、又は既存の支援機関で就労・生活などの支援を受けている方が、1歩でも社会に踏み出すきっかけとなることを重要と捉え、企業開拓や働きづらさを抱える人への支援機関を通じたアプローチの強化に努めたい。

また、企業に対して働きづらさを抱える人の雇用体制をサポートする側面からも、週20時間未満就労を行う者を企業戦力として雇用する企業を増やし、企業の困りごとの解決に努める。

參考資料

(1) 実行委員会、有識者会議

〈実行委員会〉

○ 目的

ニート、ひきこもり、難病・がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親等で働きづらさを抱える人の働く場を創出し、社会からの孤立や貧困等の課題解決を図る

○ 所掌事項

目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行うものとする。

- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の推進に関すること。
- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の啓発、事業の周知及び参加促進に関すること。
- ・その他、実行委員会の目的を達成するために必要なこと。

○ 構成員

区分	所属及び役職名
会長	福岡県福祉労働部労働局長
委員	福岡県就労支援協同組合理事長
	大牟田市保健福祉部福祉支援室長
	飯塚市経済部経済政策推進室雇用促進担当主幹
	福岡県人づくり・県民生活部生活安全課長
	福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課長
	福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室長
	福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課長
	福岡県福祉労働部福祉総務課長
	福岡県福祉労働部児童家庭課長
	福岡県福祉労働部障がい福祉課長
	福岡県福祉労働部保護・援護課長
	福岡県福祉労働部労働局労働政策課長
	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課長

	福岡県商工部中小企業振興課長
	福岡県商工部新事業支援課長
オブザーバー	日本財団公益事業部国内事業開発チーム
	厚生労働省福岡労働局職業安定部
事務局	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課

〈有識者会議〉

○ 目的

「多様性を認め合う雇用創出事業（働きづらさを抱える人の働く場の創出事業）」に係るモデル事業の実効性を高めるため、専門的見地から意見等を聴取する

○ 構成員

特定非営利活動法人抱樸 理事長
公立大学法人福岡県立大学 名誉教授社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 理事長
国立大学法人東京大学 教授
IN THE STORY 株式会社 代表取締役
公立大学法人福岡女子大学 教授

(2) 周知広報を行った支援機関（飯塚市、大牟田市）

全般	ハローワーク(大牟田・飯塚)
	●飯塚市内就労支援機関
	●おおむた就労支援ネットワーク
	●訪問看護ステーション (飯塚市21か所、大牟田市19か所)
	●警察署相談窓口(大牟田・飯塚)
	●高等技術専門学校(小竹・大牟田)
	●飯塚市地区交流センター(12か所)
犯罪被害者 等	ホームページ・SNS等 (福岡県・飯塚市・大牟田市)
	福岡犯罪被害者総合サポートセンター
	性暴力被害者支援センター・ふくおか 福岡県性暴力加害者相談窓口
非行少年 等	福岡県若者自立相談窓口
	非行少年等に対する就労支援事業 (NPO法人福岡県就労支援事業者機構)
起訴・執行猶予者	福岡県地域生活定着支援センター
ひきこもり	福岡県ひきこもり地域支援センター (筑豊サテライト、筑後サテライト)
難病患者	福岡県難病相談支援センター
	●福岡市難病相談支援センター
がん患者	がん拠点病院がん相談支援センター (飯塚病院・大牟田市立病院)
ひとり親	ひとり親サポートセンター (飯塚ランチ、久留米センター)
障がいのある人	市障がい福祉担当課(大牟田市・飯塚市)
	障害者就業・生活支援センター (BASARA(飯塚)、ほっとかん(大牟田))
	●飯塚市等障がい者基幹相談支援センター
	●特別支援学校(嘉穂・柳河・大牟田)
	●あかね園(飯塚市)
●福岡障害者職業センター	
刑を終えて出所した人	福岡県地域生活定着支援センター
生活困窮者	自立相談支援相談窓口(大牟田市・飯塚市)
長期無業者 (ニート等含む)	若者サポートステーション (筑豊(飯塚)・サテライト大牟田)
高齢者	福岡県生涯現役チャレンジセンター (飯塚・久留米(大牟田))
●子育て親	●子育て女性就職支援センター (筑豊エリア・筑後エリア)
	●飯塚市子育て支援センター(5か所)
	●大牟田市つどいの広場
●女性	●飯塚市男女共同参画推進センターサンクス
●依存症	●福岡県精神保健福祉センター

●当初の周知広報先にはなかったが、必要性を感じ新たに周知した機関

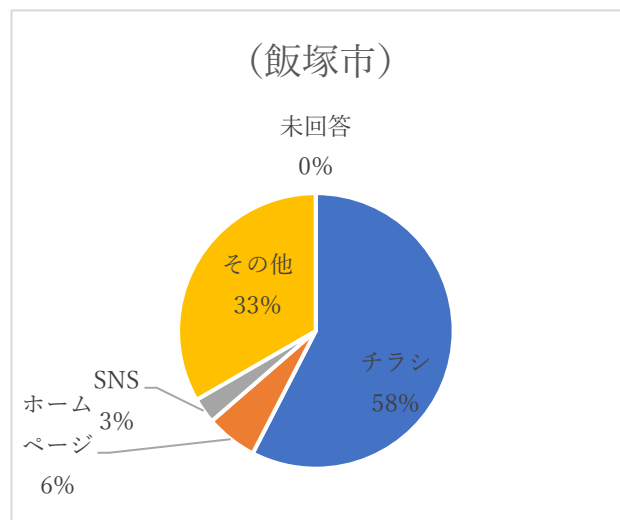
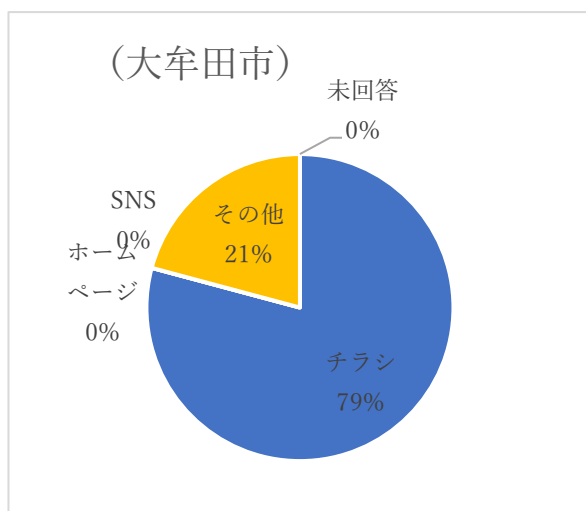
(3) アンケート結果（回答数：85件）

<企業説明会>

地域	開催日	企業説明会			登録企業数
		会場	Zoom	小計	
		企業数	企業数	企業数	
飯塚	8月29日	25	7	32	7
	11月7日	2	2	4	1
	計	27	9	36	8
大牟田	9月29日	15	9	24	2
	12月6日	6	2	8	0
	計	21	11	32	2

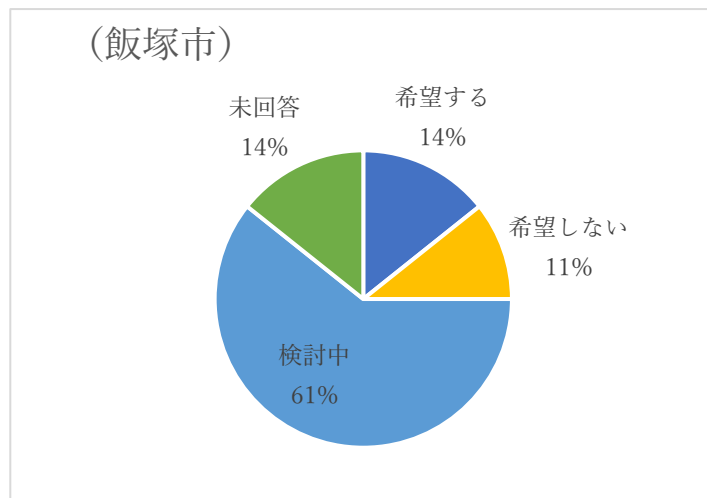
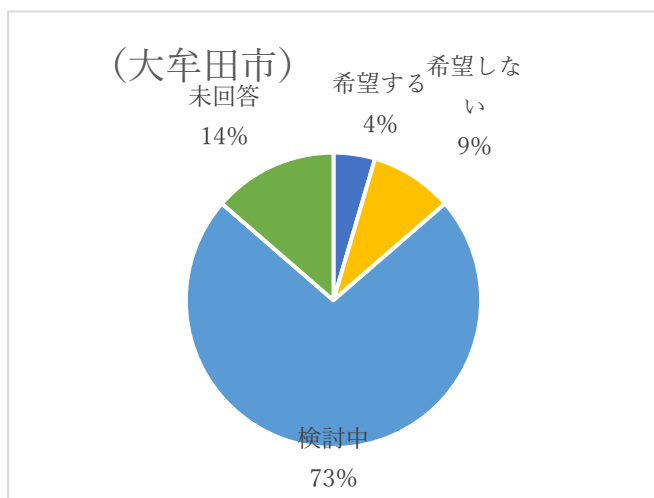
・説明会に参加された企業に関しては大牟田市、飯塚市ともに医療、福祉関係が1番多く大牟田市では不動産業、物品賃貸業、飯塚市では印刷、同関連業が2番目に多かった。

●説明会をどうやってお知りになりましたか？



・大牟田では79%がチラシ、21%がその他での周知。飯塚では58%チラシでの周知、その他が33%であった。

●当該事業の利用を希望されますか？



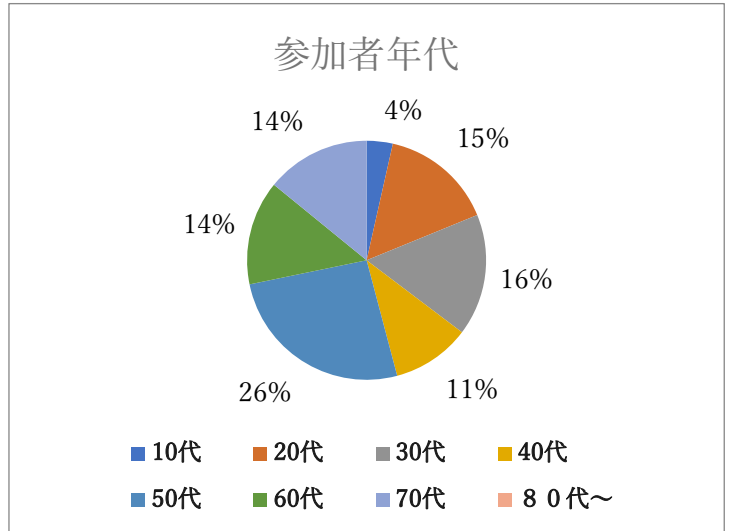
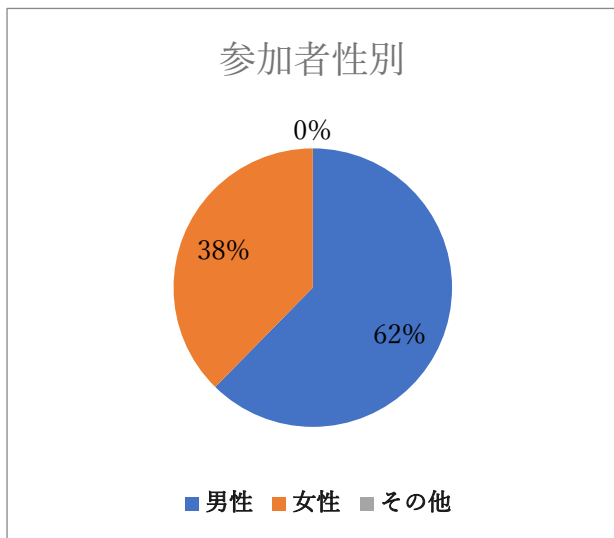
・大牟田市、飯塚市ともに検討中が最も多く大牟田市では73%、飯塚市では61%であった。

<求職者説明会>

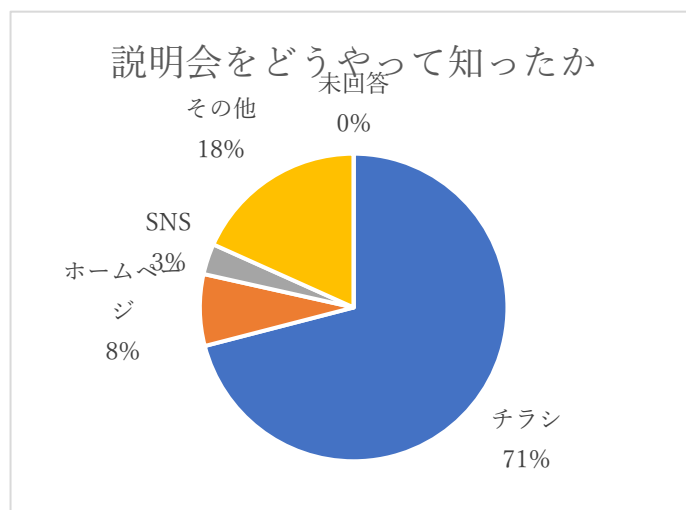
地域	開催日	求職者説明会							
		会場		Zoom		小計		合計	求職者のうち登録者数
		求職者数	支援者数	求職者数	支援者数	求職者数	支援者数		
飯塚	9月28日	10	7	0	0	10	7	17	1
	10月21日	16	7	0	0	16	7	23	1
	11月29日	8	2	0	0	8	2	10	3
	12月21日	6	3	1	1	7	4	11	3
	計	40	19	1	1	41	20	61	8
大牟田	10月27日	5	3	0	0	5	3	8	3
	11月24日	10	3	0	0	10	3	13	6
	12月23日	8	0	1	0	9	0	9	5
	1月26日	5	1	0	0	5	1	6	2
	計	28	7	1	0	29	7	36	16

・飯塚市で最も説明会参加が多かった紹介機関は組合とつながりがあった就労支援事業所が1番であり、2番目が生涯現役チャレンジセンターからの紹介であった。

・大牟田市で最も説明会参加が多かった紹介機関は生涯現役チャレンジセンターが1番であり、2番目が筑後若者サポートステーションからの紹介であった。

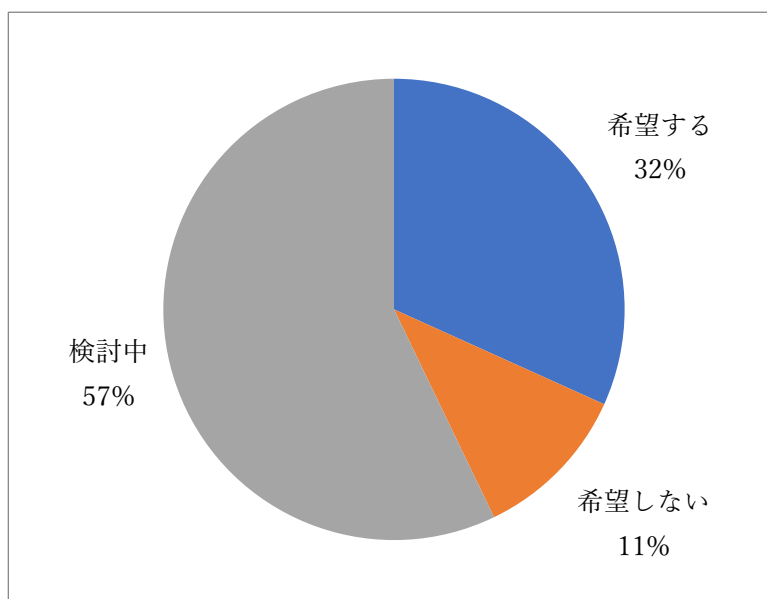


・参加者の内訳は、男性 62%、女性 38%。年齢は 50 代が 26%、次いで 20 代が 16%、60 代、70 代が各 14% の参加であった。



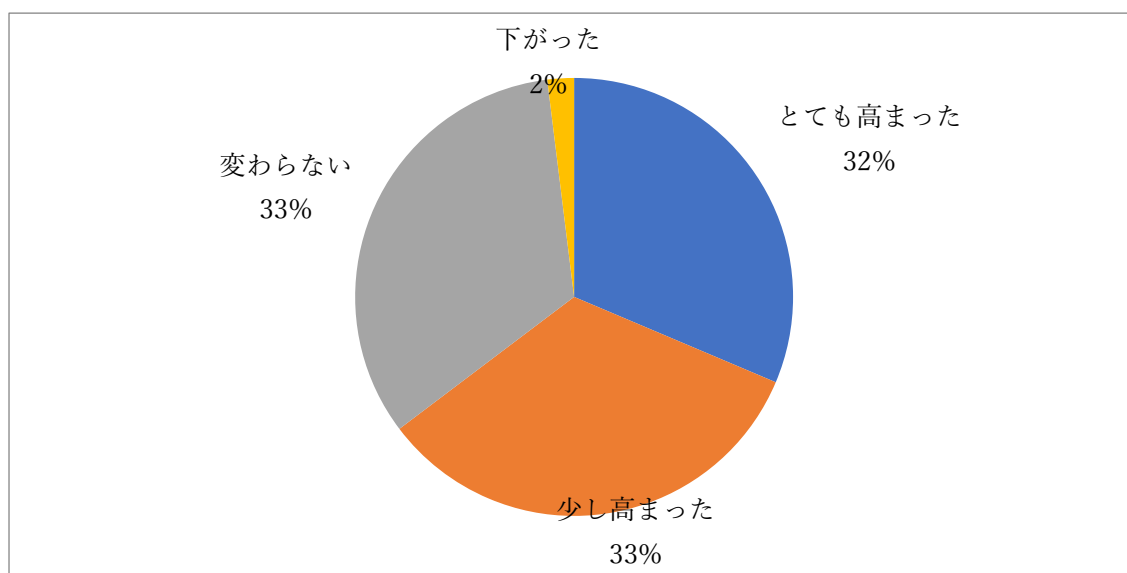
・支援機関等からチラシの配付による参加が 71%。次いで支援機関のホームページが 8% であった。
 ・円グラフ「チラシ」は、当初から実施していた支援機関等からの個別配付に加えて、12 月以降の説明会から実施したチラシ配架を含む。

●当該事業の利用を希望されますか？



※検討中が最も多く、希望すると回答したのは32%であった。

●今回の説明会を受けて「働きたい気持ちに変化はありましたか？」



・説明会参加により働きたい気持ちが高まった（とても高まった、少し高まった）と回答した求職者は、67%であった。

自由記載欄

・いろいろな不安を事前に相談できるところが安心につながった。高齢者ではあるが、まだ就労の意思と健康はそこそこあるので、機会があればチャレンジしたい。

・できれば経験を活かして事務系があればと考えている。1日2時間×3日等、考えていなかった。自身に負担の少ない働き方の提示に興味を湧いた。

・在宅ワークを視野に入れていたので、今回の説明会を機に何かアクションはできるのかなと思った。現状、私自身の体調等でいろいろと制限があるので、これらを除去できる可能性のある一步は踏めたのかなと感じた。

・様々な状況の中で、働きづらさのある方がいるので、どこでこの情報を得るのがポイントだと思った。

・施設利用者のニーズに寄り添った素晴らしい事業であると感じた。今後このような働き方が増えることで利用者と社会のつながりがさらに強くなると思った。

・今回の説明を受け、1人で働くための練習・働けない方に対する手段に近いと感じ、就労支援を受けているので、もっと頑張ろうという気持ちになった。

・週20時間未満でも働ける場所があるとは思わなかった。短い時間など色々知れてよかった。